

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	レベル6 積算要素	単位	当初数量		変更数量		摘要
							計算数量	計上数量	計算数量	計上数量	
電線共同溝						式		1			
	仮設工					式		1			
		土留・仮締切工				式		1			
			軽量鋼矢板(電線共同溝)	軽量鋼矢板2型		式	1	1			
				CB440480	軽量鋼矢板設置・撤去	m	32.2	32.2			H=2.0m
				CB440480	軽量鋼矢板設置・撤去	m	2.8	2.8			H=2.5m
					軽量鋼矢板賃料	式	1	1			
					鋼製切梁サポート賃料	式	1	1			
					アルミ腹起し賃料	式	1	1			
		交通管理工				式		1			
			交通誘導警備員			人日	52	52			
					交通誘導警備員A	人	26	26			
					交通誘導警備員B	人	26	26			
	構造物撤去工					式		1			
		構造物取壊し工				式		1			
			舗装版切断	As舗装		m	482.1	480			
				CB430510	舗装版切断	m	482.1	482			アスファルト舗装版、15cm以下
			舗装版破碎	As舗装		m2	195.9	200			
				CB440500	舗装版破碎積込(電線共同溝工)	m2	195.9	196			アスファルト舗装版
			構造物とりこわし	無筋Co		m3	0.9	0.9			
					構造物とりこわし	m3	0.9	0.9			無筋構造物、機械施工、必要
		運搬処理工				式		1			
			殻運搬	As殻、無筋Co殻		m3	12.1	12			
				CB440510	運搬(電線共同溝工)	m3	11.2	11.2			アスファルト塊、11.5km以下
				CB227010	殻運搬	m3	0.9	0.9			コンクリート(無筋)構造物とりこわし、機械積込、10.9km以下
			殻処分	As殻、無筋Co殻		m3	12.1	12			
					再資源化施設受入価格	t	26.3	26.3			As殻
					再資源化施設受入価格	t	2.0	2.0			無筋Co殻
	開削土工					式		1			
		掘削工				式		1			
			開削掘削			m3	197.9	200			
				CB440410	床掘り(電線共同溝工)	m3	197.9	198			V=167.1+30.8
		埋戻し工				式		1			
			埋戻し・締固め			m3	110.7	110			
				CB440420	埋戻し・締固め(電線共同溝工)	m3	55.2	55			土砂
				CB440420	埋戻し・締固め(電線共同溝工)	m3	55.5	56			中埋砂
		残土処理工				式		1			
			残土等処分			m3	136.6	140			
				CB210560	残土等処分	m3	136.6	137			V=105.8+30.8
			土砂等運搬			m3	136.6	140			
				CB440510	運搬(電線共同溝工)	m3	136.6	137			土砂、60.0km以下
	電線共同溝工					式		1			
		管路工(管路部)				式		1			
			埋設管路			m	913.2	913			
				CB440440	管路材設置	m	305.0	305.0			角形難燃FEPφ130
					ロングヘルマウス	個	12	12			角形難燃FEPφ130用
					継手 オスアダプター	個	6	6			角形難燃FEPφ130用
					通線ひも	m	305.0	305.0			角形難燃FEPφ130用
				CB440440	管路材設置	m	277.8	277.8			角形難燃FEPφ100
					ロングヘルマウス	個	29	29			角形難燃FEPφ100用
					継手 オス-オスアダプター	個	12	12			角形難燃FEPφ100用

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	レベル6 積算要素	単位	当初数量		変更数量		摘要
							計算数量	計上数量	計算数量	計上数量	
					通線ひも	m	277.8	277.8			角形難燃FEPφ100用
				CB440440	管路材設置	m	136.5	136.5			フリーアクセス管φ150直管
				CB440440	管路材設置	m	4.6	4.6			フリーアクセス管φ150曲管
					ダクトスリーブ	個	6	6			フリーアクセス管φ150用
					ヤリトリ継手	個	3	3			VPφ150-フリーアクセス管φ150用
					管枕	個	71	71			フリーアクセス管φ150用
					通線ひも	m	141.1	141.1			フリーアクセス管φ150用、L=136.5+4.6
				CB440440	管路材設置	m	128.0	128.0			ボティ管φ150直管 φ50_0条+φ30_3条
				CB440440	管路材設置	m	4.6	4.6			ボティ管φ150曲管 φ50_0条+φ30_3条
					ダクトスリーブ	個	6	6			ボティ管φ150用
					ロータス管	個	3	3			ボティ管φ150用(起点用)
					ロータス管	個	3	3			ボティ管φ150用(終点用)
					スライド管	個	3	3			VPφ150-ボティ管φ150用
					管枕	個	142	142			ボティ管φ150用
					さや管	m	396.9	396.9			SU管φ30
					さや管	本	18	18			SU管φ30端末用短管L=1.1m
					通線ひも	m	396.9	396.9			SU管用
				CB440440	管路材設置	m	37.4	37.4			PV管φ75直管
				CB440440	管路材設置	m	19.3	19.3			PV管φ75曲管
					ダクトスリーブ	個	3	3			PV管φ75用
					管枕	個	48	48			PV管φ75用
					分岐管	個	4	4			PV管φ75用
					分散管	個	4	4			PV管φ75用
					通線ひも	m	56.7	56.7			PV管φ75用、L=37.4+19.3
			埋設表示シート	W=400・600		m	207.7	208			
					埋設標識シート敷設	m	80.1	80.1			W=400
					埋設標識シート敷設	m	127.6	127.6			W=600
		プレキャストボックス工(特殊部)				式		1			
		プレキャストボックス	特殊部本体			個	3	3			
			CB221110	基礎碎石	m2	13.6	13.6				再生碎石(RC-40)、t=15cm
			CB240060	モルタル練	m3	0.2	0.2				高炉
			CB440450	プレキャストボックスブロック設置	個	1	1				特殊部Ⅱ型900×1200×4200(SB・HH共)
			CB440450	プレキャストボックスブロック設置	個	2	2				通信接続樹500×1050×2000
		プレキャストボックス	分岐樹		個	5	5				
			CB221110	基礎碎石	m2	5.2	5.2				再生碎石(RC-40)、t=10cm
			CB240060	モルタル練	m3	0.1	0.1				高炉
			CB440450	プレキャストボックスブロック設置	個	2	2				分岐樹 400×500×1000
			CB440450	プレキャストボックスブロック設置	個	2	2				分岐樹 400×1000×1000
			CB440450	プレキャストボックスブロック設置	個	1	1				分岐樹 400×500×2000
			蓋	特殊部本体・分岐樹用	組	9	9				
					蓋設置	組	1	1			特殊部Ⅱ型用 900×4200
					蓋設置	組	2	2			通信接続樹用 500×2000
					蓋設置	組	1	1			地上機器横置HH用 1050×1150
					蓋設置	組	4	4			分岐樹用 400×1000
					蓋設置	組	1	1			分岐樹用 400×2000
舗装						式		1			
	舗装工					式		1			
		アスファルト舗装工(歩道部)				式		1			
			凍上抑制層(歩道部)	砂 t=15cm	m2	121.7	122				
				凍上抑制層	m2	121.7	121.7				
			路盤工(歩道部)	切込碎石(C-20) t=10cm	m2	121.7	122				

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	レベル6 積算要素	単位	当初数量		変更数量		摘要
							計算数量	計上数量	計算数量	計上数量	
				CB410041	上層路盤(歩道部)	m2	121.7	121.7			1層施工
			表層(歩道部)	⑦再生細粒度(13F) t=3cm		m2	121.7	122			
				CB410261	表層(歩道部)	m2	121.7	121.7			1.4m未満
		アスファルト舗装工(乗入部第1種)				式		1			
			路盤工(歩道部)	再生砕石(RC-40) t=30cm		m2	6.5	7			
				CB410031	下層路盤(歩道部)	m2	6.5	6.5			2層施工
			基層(歩道部)	①再生粗粒度(20) t=10cm		m2	6.5	7			
				CB410241	基層(歩道部)	m2	6.5	6.5			1.4m未満、t=5cm
				CB410241	基層(歩道部)	m2	6.5	6.5			1.4m未満、t=5cm
			表層(歩道部)	⑦再生細粒度(13F) t=5cm		m2	6.5	7			
				CB410261	表層(歩道部)	m2	6.5	6.5			1.4m未満
		アスファルト舗装工(乗入部第2種)				式		1			
			路盤工(歩道部)	再生砕石(RC-40) t=25cm		m2	11.8	12			
				CB410031	下層路盤(歩道部)	m2	11.8	11.8			2層施工
			基層(歩道部)	①再生粗粒度(20) t=5cm		m2	11.8	12			
				CB410241	基層(歩道部)	m2	11.8	11.8			1.4m未満
			表層(歩道部)	⑦再生細粒度(13F) t=5cm		m2	11.8	12			
				CB410261	表層(歩道部)	m2	11.8	11.8			1.4m未満
		アスファルト舗装工(乗入部第3種)				式		1			
			路盤工(歩道部)	再生砕石(RC-40) t=25cm		m2	10.8	11			
				CB410031	下層路盤(歩道部)	m2	10.8	10.8			2層施工
			表層(歩道部)	⑦再生細粒度(13F) t=5cm		m2	10.8	11			
				CB410261	表層(歩道部)	m2	10.8	10.8			1.4m未満
		アスファルト舗装工(車道部)				式		1			
			路盤(車道部)	再生砕石RC-40 t=20cm		m2	30.7	31			
				CB410031	下層路盤(歩道部)	m2	30.7	30.7			1層施工
			路盤(車道部)	粒調砕石M-25 t=10cm		m2	30.7	31			
				CB410041	上層路盤(歩道部)	m2	30.7	30.7			1層施工
			路盤(車道部)	再生瀝青安定処理(30) t=7cm		m2	30.7	31			
				CB410040	上層路盤(車道・路肩部)	m2	30.7	30.7			1.4m未満
			表層(車道部)	②密粒度(13)改質2型 t=4cm		m2	30.7	31			
				CB410260	表層(車道・路肩部)	m2	30.7	30.7			1.4m未満
			表層(車道部)	⑤密粒度(13F)改質2型 t=3cm		m2	30.7	31			
				CB410260	表層(車道・路肩部)	m2	30.7	30.7			1.4m未満
	排水構造物工					式		1			
		側溝工				式		1			
			L形側溝	復旧		m	6.5	7			
					L型側溝設置	m	3.4	3.4			一般部
					L型側溝設置	m	3.1	3.1			平坦部
	防護柵工					式		1			
		路側防護柵工				式		1			
			ガードパイプ	Gp-Bp-2E		m	2.0	2			
					防護柵設置工	m	2.0	2.0			土中建込、Gp-Bp-2E 塗装品
共通仮設						式		1			
	共通仮設費					式		1			
		運搬費				式		1			
			仮設材運搬費	軽量鋼矢板		t	3.39	3.4			
					仮設材等の運搬	t	3.39	3.39			往路、D=4.8km
					仮設材等の運搬	t	3.39	3.39			復路、D=4.8km
					仮設材等の積み取り卸し費	t	3.39	3.39			積み込み、取卸し(往復分)

## 2. 土工数量

## 土工集計表

工 種		単位	数 量			備 考
工 種	規格・寸法		本管	連系管 引込管	合計	
(土 工)	バックホウ0.20					
掘削工	土砂	m <sup>3</sup>	156.3	10.8	167.1	
	路盤材	m <sup>3</sup>	24.5	6.3	30.8	
埋戻し工	発生土	m <sup>3</sup>	51.8	3.4	55.2	
	再生砂	m <sup>3</sup>	49.6	5.9	55.5	
残土処分工	土砂	m <sup>3</sup>	98.8	7.0	105.8	
	路盤材	m <sup>3</sup>	24.5	6.3	30.8	

## 仮設工集計表

工 種		単位	数 量			備 考
工 種	規格・寸法		本管	連系管 引込管	合計	
(仮設工)						
土留工	軽量鋼矢板 (H=2.0m)	m	32.2	-	32.2	
	軽量鋼矢板 (H=2.5m)	m	2.8	-	2.8	
	軽量鋼矢板 (H=3.0m)	m	-	-	-	

## 撤去工集計表

工 種		単位	数 量			備 考
工 種	規格・寸法		本管	連系管 引込管	合計	
(撤去工)						
舗装切断工	As舗装版15cm以下	m	383.9	98.2	482.1	土工計算書より
舗装版壊し工	As舗装版15cm以下	m <sup>2</sup>	170.1	25.8	195.9	"
廃材処理工	As殻運搬	m <sup>3</sup>	8.5	2.7	11.2	"
	As殻	t			26.3	

## 舗装工集計表

工 種		単位	数 量			備 考
工 種	規格・寸法		本管	連系管 引込管	合計	
(舗装工)						
歩道部 (t=28cm)	再生細粒度As(13F) t=3cm 切込砕石C-20 t=10cm 砂(凍上抑制層) t=15cm	m <sup>2</sup>	115.6	6.1	121.7	土工計算書より
乗入部第1種 (t=45cm)	再生細粒度As(13F) t=5cm 再生粗粒度As(20) t=10cm 再生砕石RC-40 t=30cm	m <sup>2</sup>	6.5	-	6.5	"
乗入部第2種 (t=35cm)	再生細粒度As(13F) t=5cm 再生粗粒度As(20) t=5cm 再生砕石RC-40 t=25cm	m <sup>2</sup>	7.9	3.9	11.8	"
乗入部第3種 (t=30cm)	再生細粒度As(13F) t=5cm 再生砕石RC-40 t=25cm	m <sup>2</sup>	10.3	0.5	10.8	"
車道部 (t=44cm)	密粒度As(13F)改質Ⅱ型 t=3cm 密粒度As(13)改質Ⅱ型 t=4cm 再生瀝青安定処理(30) t=7cm 粒調砕石M-25 t=10cm 再生砕石RC-40 t=20cm	m <sup>2</sup>	15.5	15.2	30.7	"

## 本体工集計表

工 種		単位	数 量			備 考
工 種	規格・寸法		本管	連系管 引込管	合計	
(本体工)						
埋設シート	W=400	m	31.0	49.1	80.1	土工計算書より
	W=600	m	127.6	-	127.6	"

## 土工集計表

本管

工 種		単位	数 量	備 考
工 種	規格・寸法			
(土 工)	バックホウ0.20			
掘削工	土砂	m <sup>3</sup>	156.3	
	路盤材	m <sup>3</sup>	24.5	
埋戻し工	発生土	m <sup>3</sup>	51.8	
	再生砂	m <sup>3</sup>	49.6	
残土処分工	土砂	m <sup>3</sup>	98.8	
	路盤材	m <sup>3</sup>	24.5	

## 仮設工集計表

本管

工 種		単位	数 量	備 考
工 種	規格・寸法			
(仮設工)				
土留工	軽量鋼矢板 (H=2.0m)	m	32.2	
	軽量鋼矢板 (H=2.5m)	m	2.8	
	軽量鋼矢板 (H=3.0m)	m	-	

## 撤去工集計表

本管

工 種		単位	数 量	備 考
工 種	規格・寸法			
(撤去工)				
舗装切断工	As舗装版15cm以下	m	383.9	
舗装版壊し工	As舗装版15cm以下	m <sup>2</sup>	170.1	
廃材処理工	As殻運搬	m <sup>3</sup>	8.5	

## 舗装工集計表

本管

工 種		単位	数 量	備 考
工 種	規格・寸法			
(舗装工)				
歩道部 (t=28cm)	再生細粒度As(13F) t=3cm 切込砕石C-20 t=10cm 砂(凍上抑制層) t=15cm	m <sup>2</sup>	115.6	
乗入部第1種 (t=45cm)	再生細粒度As(13F) t=5cm 再生粗粒度As(20) t=10cm 再生砕石RC-40 t=30cm	m <sup>2</sup>	6.5	
乗入部第2種 (t=35cm)	再生細粒度As(13F) t=5cm 再生粗粒度As(20) t=5cm 再生砕石RC-40 t=25cm	m <sup>2</sup>	7.9	
乗入部第3種 (t=30cm)	再生細粒度As(13F) t=5cm 再生砕石RC-40 t=25cm	m <sup>2</sup>	10.3	
車道部 (t=44cm)	密粒度As(13F)改質Ⅱ型 t=3cm 密粒度As(13)改質Ⅱ型 t=4cm 再生瀝青安定処理(30) t=7cm 粒調砕石M-25 t=10cm 再生砕石RC-40 t=20cm	m <sup>2</sup>	15.5	

## 本体工集計表

本管

工 種		単位	数 量	備 考
工 種	規格・寸法			
(本体工)				
埋設シート	W=400	m	31.0	土工計算書より
	W=600	m	127.6	〃

土工数量計算書1

本管

区 間	土 工 番 号	土工 延長 (m)	掘 削 (m³)		埋戻し (m³)		残 土 (m³)		土留工 (m)			舗装切斷工 (m)	舗装版壊し工 (m²)	廃材処理工 (m³)	舗装工 (m²)					埋設シート (m)	
			土砂	路盤材	発生土	再生砂	路盤材	土砂	h=2.0m	h=2.5m	h=3.0m	As t≤15cm	As t≤15cm	As殻	歩道部	乗入部1種	乗入部2種	乗入部3種	車道部	W=400	W=600
			上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量
L側																					
	20	1.72	10.448 1.797	0.967 0.166	2.611 0.449	4.904 0.843	0.967 0.166	7.547 1.298				20.000 3.440	9.670 1.663	0.290 0.050	9.670 1.663						10.000 1.720
	21	9.58	5.456 5.227	2.751 2.635	1.009 0.967	3.182 3.048	2.751 2.635	4.335 4.153				20.000 19.160	9.170 8.785	1.284 1.230					9.170 8.785		10.000 9.580
	1	32.20	8.299 26.723	0.917 2.953	2.476 7.973	3.182 10.246	0.917 2.953	5.548 17.865				20.000 64.400	9.170 29.527	0.275 0.886	9.170 29.527						10.000 32.200
	13	2.10	8.509 1.787	0.917 0.193	2.467 0.518	3.402 0.714	0.917 0.193	5.768 1.211				20.000 4.200	9.170 1.926	0.275 0.058	9.170 1.926						10.000 2.100
	分-7	2.78	13.265 1.327	6.811 0.681	6.278 0.628		6.811 0.681	6.289 0.629				75.200 7.520	27.244 2.724	2.724 0.272			13.510 1.351				
	22	2.38	6.694 1.593	2.293 0.546	1.834 0.436	3.908 0.930	2.293 0.546	4.656 1.108				20.000 4.760	9.170 2.182	0.917 0.218			9.170 2.182			10.000 2.380	
	23	2.09	6.491 1.357	2.293 0.479	1.825 0.381	3.402 0.711	2.293 0.479	4.463 0.933				20.000 4.180	9.170 1.917	0.917 0.192			9.170 1.917				10.000 2.090
	4	2.68	6.281 1.683	2.293 0.615	1.834 0.492	3.182 0.853	2.293 0.615	4.243 1.137				20.000 5.360	9.170 2.458	0.917 0.246			9.170 2.458				10.000 2.680
	1	0.83	8.299 0.689	0.917 0.076	2.476 0.206	3.182 0.264	0.917 0.076	5.548 0.460				20.000 1.660	9.170 0.761	0.275 0.023	9.170 0.761						10.000 0.830
	特-14	3.01	41.554 4.155	3.311 0.331	18.241 1.824		3.311 0.331	21.286 2.129				82.200 8.220	33.110 3.311	0.993 0.099	17.710 1.771						
	3	2.61	6.552 1.710	0.724 0.189	2.664 0.695	1.965 0.513	0.724 0.189	3.592 0.938				20.000 5.220	7.240 1.890	0.217 0.057	7.240 1.890					10.000 2.610	
	1	17.05	8.299 14.150	0.917 1.563	2.476 4.222	3.182 5.425	0.917 1.563	5.548 9.459				20.000 34.100	9.170 15.635	0.275 0.469	9.170 15.635						10.000 17.050
	13	2.09	8.509 1.778	0.917 0.192	2.467 0.516	3.402 0.711	0.917 0.192	5.768 1.206				20.000 4.180	9.170 1.917	0.275 0.057	9.170 1.917						10.000 2.090
	分-1	1.78	12.209 1.221	1.744 0.174	5.300 0.530		1.744 0.174	6.320 0.632				55.200 5.520	17.444 1.744	0.523 0.052	10.010 1.001						
	14	1.38	8.712 1.202	0.917 0.127	2.476 0.342	3.908 0.539	0.917 0.127	5.961 0.823				20.000 2.760	9.170 1.265	0.275 0.038	9.170 1.265					10.000 1.380	
	13	2.09	8.509 1.778	0.917 0.192	2.467 0.516	3.402 0.711	0.917 0.192	5.768 1.206				20.000 4.180	9.170 1.917	0.275 0.057	9.170 1.917						10.000 2.090
	1	6.47	8.299 5.369	0.917 0.593	2.476 1.602	3.182 2.059	0.917 0.593	5.548 3.590				20.000 12.940	9.170 5.933	0.275 0.178	9.170 5.933						10.000 6.470
	24	7.05	5.364 3.782	2.751 1.939	0.917 0.646	3.182 2.243	2.751 1.939	4.345 3.063				20.000 14.100	9.170 6.465	1.376 0.970		9.170 6.465					10.000 7.050
	1	18.60	8.299 15.436	0.917 1.706	2.476 4.605	3.182 5.919	0.917 1.706	5.548 10.319				20.000 37.200	9.170 17.056	0.275 0.512	9.170 17.056						10.000 18.600
	13	2.09	8.509 1.778	0.917 0.192	2.467 0.516	3.402 0.711	0.917 0.192	5.768 1.206				20.000 4.180	9.170 1.917	0.275 0.057	9.170 1.917						10.000 2.090
合計		120.58	94.542	15.542	28.064	36.440	15.542	63.365				247.280	110.993	5.721	84.179	6.465	7.908		8.785	6.370	106.640

# 土工数量計算書2

本管

区 間	土 工 番 号	土工 延長 (m)	掘 削 (m³)		埋戻し (m³)		残 土 (m³)		土留工 (m)			舗装切断工 (m)	舗装版破し工 (m2)	廃材処理工 (m³)	舗装工 (m²)					埋設シート (m)	
			土砂	路盤材	発生土	再生砂	路盤材	土砂	h=2.0m	h=2.5m	h=3.0m	As t≤15cm	As t≤15cm	As殻	歩道部	乗入部1種	乗入部2種	乗入部3種	車道部	W=400	W=600
			上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量
L側																					
	分-1	1.78	12.209 1.221	1.744 0.174	5.300 0.530		1.744 0.174	6.320 0.632				55.200 5.520	17.444 1.744	0.523 0.052	10.010 1.001						
	14	1.38	8.712 1.202	0.917 0.127	2.476 0.342	3.908 0.539	0.917 0.127	5.961 0.823				20.000 2.760	9.170 1.265	0.275 0.038	9.170 1.265					10.000 1.380	
	13	1.33	8.509 1.132	0.917 0.122	2.467 0.328	3.402 0.452	0.917 0.122	5.768 0.767				20.000 2.660	9.170 1.220	0.275 0.037	9.170 1.220						10.000 1.330
	2	5.03	6.740 3.390	2.293 1.153	2.293 1.153	3.182 1.601	2.293 1.153	4.192 2.109				20.000 10.060	9.170 4.613	0.459 0.231				9.170 4.613			10.000 5.030
	1	1.91	8.299 1.585	0.917 0.175	2.476 0.473	3.182 0.608	0.917 0.175	5.548 1.060				20.000 3.820	9.170 1.751	0.275 0.053	9.170 1.751						10.000 1.910
	特-14	3.01	41.554 4.155	3.311 0.331	18.241 1.824		3.311 0.331	21.286 2.129				82.200 8.220	33.110 3.311	0.993 0.099	17.710 1.771						
	3	2.61	6.552 1.710	0.724 0.189	2.664 0.695	1.965 0.513	0.724 0.189	3.592 0.938				20.000 5.220	7.240 1.890	0.217 0.057	7.240 1.890					10.000 2.610	
	103	0.80	8.864 0.709	0.917 0.073	3.375 0.270	2.849 0.228	0.917 0.073	5.114 0.409				20.000 1.600	9.170 0.734	0.275 0.022	9.170 0.734						10.000 0.800
	132	2.96	10.667 3.157	0.917 0.271	4.759 1.409	3.267 0.967	0.917 0.271	5.379 1.592				20.000 5.920	9.170 2.714	0.275 0.081	9.170 2.714						10.000 2.960
	133	1.16	10.830 1.256	2.293 0.266	4.576 0.531	4.989 0.579	2.293 0.266	5.746 0.667	20.000 2.320			20.000 2.320	9.170 1.064	0.459 0.053				9.170 1.064			10.000 1.160
	分-11	1.78	18.902 1.890	4.584 0.458	10.682 1.068		4.584 0.458	7.033 0.703				56.200 5.620	18.334 1.833	0.917 0.092				10.900 1.090			
	134	1.38	11.834 1.633	2.293 0.316	7.336 1.012	3.546 0.489	2.293 0.316	3.683 0.508	20.000 2.760			20.000 2.760	9.170 1.265	0.459 0.063				9.170 1.265	10.000 1.380		
	135	2.47	11.097 2.741	2.293 0.566	5.273 1.302	4.559 1.126	2.293 0.566	5.238 1.294	20.000 4.940			20.000 4.940	9.170 2.265	0.459 0.113				9.170 2.265			10.000 2.470
	136	1.25	11.941 1.493	0.917 0.115	4.768 0.596	4.532 0.567	0.917 0.115	6.643 0.830	20.000 2.500			20.000 2.500	9.170 1.146	0.275 0.034	9.170 1.146						10.000 1.250
	138	5.75	8.221 4.727	0.565 0.325	4.633 2.664	2.313 1.330	0.565 0.325	3.073 1.767	20.000 11.500			20.000 11.500	5.650 3.249	0.170 0.098	5.650 3.249					10.000 5.750	
	137	0.47	7.653 0.360	0.724 0.034	3.765 0.177	1.965 0.092	0.724 0.034	3.470 0.163				20.000 0.940	7.240 0.340	0.217 0.010	7.240 0.340					10.000 0.470	
	特-9	5.10	165.514 16.551	13.501 1.350	42.988 4.299		13.501 1.350	117.750 11.775				204.800 20.480	135.009 13.501	4.050 0.405	65.316 6.532						
	139	0.47	8.826 0.415	0.724 0.034	3.765 0.177	2.613 0.123	0.724 0.034	4.643 0.218				20.000 0.940	7.240 0.340	0.217 0.010	7.240 0.340					10.000 0.470	
	140	1.29	12.512 1.614	0.917 0.118	4.768 0.615	4.578 0.591	0.917 0.118	7.214 0.931	20.000 2.580			20.000 2.580	9.170 1.183	0.275 0.035	9.170 1.183						10.000 1.290
	141	2.78	13.226 3.677	0.917 0.255	5.456 1.517	4.605 1.280	0.917 0.255	7.164 1.992	20.000 5.560			20.000 5.560	9.170 2.549	0.275 0.076	9.170 2.549						10.000 2.780
小計		44.71	54.618	6.452	20.982	11.085	6.452	31.307	32.160			105.920	47.977	1.659	27.685			10.297		12.060	20.980
合計		165.29	149.160	21.994	49.046	47.525	21.994	94.672	32.160			353.200	158.970	7.380	111.864	6.465	7.908	10.297	8.785	18.430	127.620



土工数量計算書3

本管

区 間	土 工 番 号	土工 延長 (m)	掘 削 (m³)		埋戻し (m³)		残 土 (m³)		土留工 (m)			舗装切断工 (m)	舗装版壊し工 (㎡)	廃材処理工 (m³)	舗装工 (m²)					埋設シート (m)	
			土砂	路盤材	発生土	再生砂	路盤材	土砂	h=2.0m	h=2.5m	h=3.0m	As t≤15cm	As t≤15cm	As殻	歩道部	乗入部1種	乗入部2種	乗入部3種	車道部	W=400	W=600
			上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量
L側																					
	分-10	1.78	22.019 2.202	1.833 0.183	10.900 1.090		1.833 0.183	9.908 0.991				56.200 5.620	18.334 1.833	0.550 0.055	10.900 1.090						
	142	1.38	14.566 2.010	0.917 0.127	7.519 1.038	4.194 0.579	0.917 0.127	6.212 0.857		20.000 2.760		20.000 2.760	9.170 1.265	0.275 0.038	9.170 1.265					10.000 1.380	
横断																					
	78	9.28	2.259 2.096	2.172 2.016	0.362 0.336	1.372 1.273	2.172 2.016	1.857 1.723				20.000 18.560	7.240 6.719	1.014 0.941					7.240 6.719	10.000 9.280	
	185	1.86	4.503 0.838	0.724 0.135	1.520 0.283	1.372 0.255	0.724 0.135	2.814 0.523				20.000 3.720	7.240 1.347	0.217 0.040	7.240 1.347					10.000 1.860	
小計		14.30	7.146	2.461	2.747	2.107	2.461	4.094		2.760		30.660	11.164	1.074	3.702				6.719	12.520	
合計		179.59	156.306	24.455	51.793	49.632	24.455	98.766	32.160	2.760		383.860	170.134	8.454	115.566	6.465	7.908	10.297	15.504	30.950	127.620

## 土工集計表

連系管・引込管

工 種		単位	数 量	備 考
工 種	規格・寸法			
(土 工)	バックホウ0.20			
掘削工	土砂	m <sup>3</sup>	10.8	
	路盤材	m <sup>3</sup>	6.3	
埋戻し工	発生土	m <sup>3</sup>	3.4	
	再生砂	m <sup>3</sup>	5.9	
残土処分工	土砂	m <sup>3</sup>	7.0	
	路盤材	m <sup>3</sup>	6.3	

## 仮設工集計表

連系管・引込管

工 種		単位	数 量	備 考
工 種	規格・寸法			
(仮設工)				
土留工	軽量鋼矢板 (H=2.0m)	m		
	軽量鋼矢板 (H=2.5m)	m		
	軽量鋼矢板 (H=3.0m)	m		

## 撤去工集計表

連系管・引込管

工 種		単位	数 量	備 考
工 種	規格・寸法			
(撤去工)				
舗装切断工	As舗装版15cm以下	m	98.2	
舗装版壊し工	As舗装版15cm以下	m <sup>2</sup>	25.8	
廃材処理工	As殻運搬	m <sup>3</sup>	2.7	

## 舗装工集計表

連系管・引込管

工 種		単位	数 量	備 考
工 種	規格・寸法			
(舗装工)				
歩道部 (t=28cm)	再生細粒度As(13F) t=3cm 切込砕石C-20 t=10cm 砂(凍上抑制層) t=15cm	m <sup>2</sup>	6.1	
乗入部第1種 (t=45cm)	再生細粒度As(13F) t=5cm 再生粗粒度As(20) t=10cm 再生砕石RC-40 t=30cm	m <sup>2</sup>		
乗入部第2種 (t=35cm)	再生細粒度As(13F) t=5cm 再生粗粒度As(20) t=5cm 再生砕石RC-40 t=25cm	m <sup>2</sup>	3.9	
乗入部第3種 (t=30cm)	再生細粒度As(13F) t=5cm 再生砕石RC-40 t=25cm	m <sup>2</sup>	0.5	
車道部 (t=44cm)	密粒度As(13F)改質Ⅱ型 t=3cm 密粒度As(13)改質Ⅱ型 t=4cm 再生瀝青安定処理(30) t=7cm 粒調砕石M-25 t=10cm 再生砕石RC-40 t=20cm	m <sup>2</sup>	15.2	

## 本体工集計表

連系管・引込管

工 種		単位	数 量	備 考
工 種	規格・寸法			
(本体工)				
埋設シート	W=400	m	49.1	土工計算書より
	W=600	m		〃

# 土工数量計算書1

連系管・引込管

区 間	土 工 番 号	土工 延長 (m)	掘 削 (m <sup>3</sup> )		埋戻し (m <sup>3</sup> )		残 土 (m <sup>3</sup> )		土留工 (m)			舗装切断工 (m)	舗装版壊し工 (m <sup>2</sup> )	廢材処理工 (m <sup>3</sup> )	舗装工 (m <sup>2</sup> )					埋設シート (m)	
			土砂	路盤材	発生土	再生砂	路盤材	土砂	h=2.0m	h=2.5m	h=3.0m	As t≤15cm	As t≤15cm	As殻	歩道部	乗入部1種	乗入部2種	乗入部3種	車道部	W=400	W=600
			上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量	上段:単位数量 下段:数量
L側																					
	87	14.89	2.354 3.505	1.878 2.796	0.313 0.466	1.824 2.716	1.878 2.796	2.006 2.987				20.000 29.780	6.260 9.321	0.876 1.304					6.260 9.321	10.000 14.890	
	124	5.87	2.255 1.324	0.465 0.273	0.791 0.464	0.734 0.431	0.465 0.273	1.376 0.808				20.000 11.740	4.650 2.730	0.140 0.082	4.650 2.730						10.000 5.870
	125	12.74	1.000 1.274	1.395 1.777	0.233 0.297	0.734 0.935	1.395 1.777	0.741 0.944				20.000 25.480	4.650 5.924	0.651 0.829					4.650 5.924	10.000 12.740	
	88	1.11	3.806 0.422	1.313 0.146	2.625 0.291	1.025 0.114	1.313 0.146	0.889 0.099				20.000 2.220	5.250 0.583	0.525 0.058			5.250 0.583			10.000 1.110	
	84	0.61	1.181 0.072			1.025 0.063		1.181 0.072													
	128	7.22	1.232 0.890	1.163 0.840	0.465 0.336	0.734 0.530	1.163 0.840	0.715 0.516				20.000 14.440	4.650 3.357	0.465 0.336			4.650 3.357			10.000 7.220	
	124	1.11	2.255 0.250	0.465 0.052	0.791 0.088	0.734 0.081	0.465 0.052	1.376 0.153				20.000 2.220	4.650 0.516	0.140 0.016	4.650 0.516					10.000 1.110	
	85	1.11	6.029 0.669	0.638 0.071	3.637 0.404	1.207 0.134	0.638 0.071	1.988 0.221				20.000 2.220	6.380 0.708	0.191 0.021	6.380 0.708					10.000 1.110	
	86	0.61	1.436 0.088			1.207 0.074		1.436 0.088													
	85	1.11	6.029 0.669	0.638 0.071	3.637 0.404	1.207 0.134	0.638 0.071	1.988 0.221				20.000 2.220	6.380 0.708	0.191 0.021	6.380 0.708					10.000 1.110	
	86	0.61	1.436 0.088			1.207 0.074		1.436 0.088													
	83	0.68	4.069 0.277	1.313 0.089	2.888 0.196	1.025 0.070	1.313 0.089	0.860 0.058				20.000 1.360	5.250 0.357	0.263 0.018				5.250 0.357		10.000 0.680	
	84	1.08	1.181 0.128			1.025 0.111		1.181 0.128													
	90	0.38	3.948 0.150	1.240 0.047	2.976 0.113	0.900 0.034	1.240 0.047	0.641 0.024				20.000 0.760	4.960 0.188	0.248 0.009				4.960 0.188		10.000 0.380	
	82	0.61	0.972 0.059			0.900 0.055		0.972 0.059													
	124	2.44	2.255 0.550	0.465 0.113	0.791 0.193	0.734 0.179	0.465 0.113	1.376 0.336				20.000 4.880	4.650 1.135	0.140 0.034	4.650 1.135					10.000 2.440	
	85	0.46	6.029 0.277	0.638 0.029	3.637 0.167	1.207 0.056	0.638 0.029	1.988 0.091				20.000 0.920	6.380 0.293	0.191 0.009	6.380 0.293					10.000 0.460	
	86	0.61	1.436 0.088			1.207 0.074		1.436 0.088													
合計		53.25	10.780	6.304	3.419	5.865	6.304	6.981				98.240	25.820	2.737	6.090		3.940	0.545	15.245	49.120	

工 種	土 工 事	細 別	1	10 m 当り
(歩道部)				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>復旧断面</p> </div> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = 0.917 \times 0.905 \times 10.000$	8.299	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 0.917 \times 0.100 \times 10.000$	0.917	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.917 \times 0.485$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 2 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000$	3.182	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.917 \times 0.270 \times 10.000$	2.476	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 0.917$	0.917	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 8.299 - 2.476 \div 0.9$	5.548	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=3cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=3cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=3cm)	$V = 0.917 \times 10.000 \times 0.030$	0.275	m <sup>3</sup>
舗装工	(歩道部) (t=28cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L =$		m
	W=600	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m

工 種	土 工 事	細 別	2	10 m 当り
(乗入部3種)				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>復旧断面</p> </div> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = 0.917 \times 0.735 \times 10.000$	6.740	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 0.917 \times 0.250 \times 10.000$	2.293	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.917 \times 0.485$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 2 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000$	3.182	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.917 \times 0.250 \times 10.000$	2.293	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 2.293$	2.293	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 6.740 - 2.293 \div 0.9$	4.192	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=5cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=5cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=5cm)	$V = 0.917 \times 10.000 \times 0.050$	0.459	m <sup>3</sup>
舗装工	(乗入部3種) (t=30cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L =$		m
	W=600	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m

工 種	土 工 事	細 別	3	10 m 当り
(歩道部)				
<div style="text-align: center;"> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = 0.724 \times 0.905 \times 10.000$	6.552	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 0.724 \times 0.100 \times 10.000$	0.724	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.724 \times 0.387$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 ) \} \text{ FEP } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000$	1.965	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.724 \times 0.368 \times 10.000$	2.664	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 0.724$	0.724	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 6.552 - 2.664 \div 0.9$	3.592	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=3cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=3cm)	$A = 0.724 \times 10.000$	7.240	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=3cm)	$V = 0.724 \times 10.000 \times 0.030$	0.217	m <sup>3</sup>
舗装工	(歩道部) (t=28cm)	$A = 0.724 \times 10.000$	7.240	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m
	W=600	$L =$		m

工 種	土 工 事	細 別	4	10 m 当り
(乗入部2種)				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = 0.917 \times 0.685 \times 10.000$	6.281	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 0.917 \times 0.250 \times 10.000$	2.293	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.917 \times 0.485$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 2 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000$	3.182	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.917 \times 0.200 \times 10.000$	1.834	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 2.293$	2.293	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 6.281 - 1.834 \div 0.9$	4.243	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=10cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=10cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=10cm)	$V = 0.917 \times 10.000 \times 0.100$	0.917	m <sup>3</sup>
舗装工	(乗入部2種) (t=35cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L =$		m
	W=600	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m

工 種	土 工 事	細 別	13	10 m 当り
(歩道部)				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>復旧断面</p> </div> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = (0.724 \times 0.934 + 0.193 \times 0.905) \times 10.000$	8.509	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = (0.724 + 0.193) \times 0.100 \times 10.000$	0.917	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.724 \times 0.515 + 0.193 \times 0.486$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 2 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 ) \} \text{ FEP } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000$	3.402	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.917 \times 0.269 \times 10.000$	2.467	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 0.917$	0.917	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 8.509 - 2.467 \div 0.9$	5.768	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=3cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=3cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=3cm)	$V = 0.917 \times 10.000 \times 0.030$	0.275	m <sup>3</sup>
舗装工	(歩道部) (t=28cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L =$		m
	W=600	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m



工 種	土 工 事	細 別	14	10 m 当り
(歩道部)				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>復旧断面</p> </div> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = (0.724 \times 0.962 + 0.193 \times 0.905) \times 10.000$	8.712	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = (0.724 + 0.193) \times 0.100 \times 10.000$	0.917	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.724 \times 0.542 + 0.193 \times 0.485$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 0 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 2 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 ) \} \text{ FEP } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000$	3.908	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.917 \times 0.270 \times 10.000$	2.476	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 0.917$	0.917	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 8.712 - 2.476 \div 0.9$	5.961	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=3cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=3cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=3cm)	$V = 0.917 \times 10.000 \times 0.030$	0.275	m <sup>3</sup>
舗装工	(歩道部) (t=28cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m
	W=600	$L =$		m

工 種	土 工 事	細 別	20	10 m 当り
(歩道部)				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>復旧断面</p> </div> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = (0.341 \times 0.905 + 0.626 \times 1.176) \times 10.000$	10.448	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = (0.341 + 0.626) \times 0.100 \times 10.000$	0.967	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.341 \times 0.485 + 0.626 \times 0.756$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 2 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 3 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 ) \} \text{ FEP } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000$	4.904	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.967 \times 0.270 \times 10.000$	2.611	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 0.967$	0.967	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 10.448 - 2.611 \div 0.9$	7.547	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=3cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=3cm)	$A = 0.967 \times 10.000$	9.670	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=3cm)	$V = 0.967 \times 10.000 \times 0.030$	0.290	m <sup>3</sup>
舗装工	(歩道部) (t=28cm)	$A = 0.967 \times 10.000$	9.670	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L =$		m
	W=600	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m

工 種	土 工 事	細 別	21	10 m当り
(車道部)				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>復旧断面</p> </div> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = 0.917 \times 0.595 \times 10.000$	5.456	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 0.917 \times 0.300 \times 10.000$	2.751	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.917 \times 0.485$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 2 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000$	3.182	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.917 \times 0.110 \times 10.000$	1.009	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 2.751$	2.751	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 5.456 - 1.009 \div 0.9$	4.335	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=14cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=14cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=14cm)	$V = 0.917 \times 10.000 \times 0.140$	1.284	m <sup>3</sup>
舗装工	(車道部) (t=44cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L =$		m
	W=600	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m

工 種	土 工 事	細 別	22	10 m 当り
(乗入部2種)				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>復旧断面</p> </div> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = (0.724 \times 0.742 + 0.193 \times 0.685) \times 10.000$	6.694	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = (0.724 + 0.193) \times 0.250 \times 10.000$	2.293	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.724 \times 0.542 + 0.193 \times 0.485$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 0 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 2 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 ) \} \text{ FEP } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000$	3.908	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.917 \times 0.200 \times 10.000$	1.834	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 2.293$	2.293	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 6.694 - 1.834 \div 0.9$	4.656	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=10cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=10cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=10cm)	$V = 0.917 \times 10.000 \times 0.100$	0.917	m <sup>3</sup>
舗装工	(乗入部2種) (t=35cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m
	W=600	$L =$		m

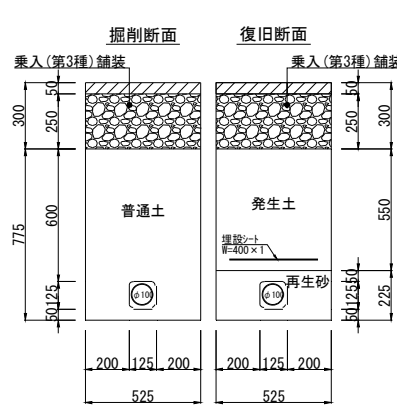
工 種	土 工 事	細 別	23	10 m 当り
(乗入部2種)				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>復旧断面</p> </div> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = (0.724 \times 0.714 + 0.193 \times 0.685) \times 10.000$	6.491	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = (0.724 + 0.193) \times 0.250 \times 10.000$	2.293	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.724 \times 0.515 + 0.193 \times 0.486$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 2 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 ) \} \text{ FEP } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000$	3.402	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.917 \times 0.199 \times 10.000$	1.825	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 2.293$	2.293	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 6.491 - 1.825 \div 0.9$	4.463	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=10cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=10cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=10cm)	$V = 0.917 \times 10.000 \times 0.100$	0.917	m <sup>3</sup>
舗装工	(乗入部2種) (t=35cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L =$		m
	W=600	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m

工 種	土 工 事	細 別	24	10 m 当り
(乗入部1種)				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>復旧断面</p> </div> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = 0.917 \times 0.585 \times 10.000$	5.364	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 0.917 \times 0.300 \times 10.000$	2.751	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.917 \times 0.485$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 2 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除} \}$ $\times 10.000$	3.182	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.917 \times 0.100 \times 10.000$	0.917	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 2.751$	2.751	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 5.364 - 0.917 \div 0.9$	4.345	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=15cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=15cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=15cm)	$V = 0.917 \times 10.000 \times 0.150$	1.376	m <sup>3</sup>
舗装工	(乗入部1種) (t=45cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L =$		m
	W=600	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m

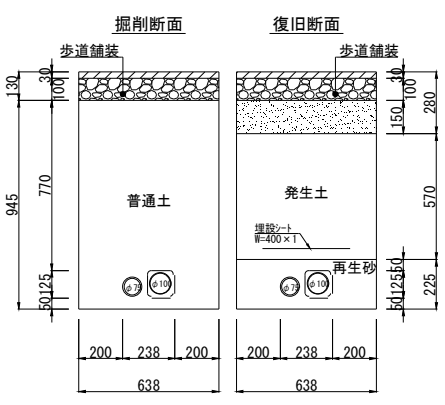
工 種	土 工 事	細 別	78	10 m 当り
(車道部)				
<div style="text-align: center;"> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = 0.724 \times 0.312 \times 10.000$	2.259	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 0.724 \times 0.300 \times 10.000$	2.172	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.724 \times 0.262$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 2 \quad \text{角型FEP} \phi 130 \text{管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 0 \quad \text{角型FEP} \phi 100 \text{管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 0 \quad \phi 150 \text{管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \quad \phi 200 \text{管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \quad \phi 75 \text{管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \quad \phi 50 \text{管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 ) \} \text{FEP} \phi 50 \text{管控除}$ $\times 10.000$	1.372	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.724 \times 0.050 \times 10.000$	0.362	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 2.172$	2.172	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 2.259 - 0.362 \div 0.9$	1.857	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=14cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=14cm)	$A = 0.724 \times 10.000$	7.240	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=14cm)	$V = 0.724 \times 10.000 \times 0.140$	1.014	m <sup>3</sup>
舗装工	(車道部) (t=44cm)	$A = 0.724 \times 10.000$	7.240	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m
	W=600	$L =$		m

工 種	土 工 事	細 別	82	10 m当り
(側溝下)				
<div style="text-align: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div> <p>掘削断面</p> </div> <div> <p>復旧断面</p> </div> </div> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = 0.496 \times 0.196 \times 10.000$	0.972	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V =$		m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.496 \times 0.196$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 0 \quad \text{角型FEP} \phi 130 \text{管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 0 \quad \text{角型FEP} \phi 100 \text{管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 0 \quad \phi 150 \text{管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \quad \phi 200 \text{管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 1 \quad \phi 75 \text{管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \quad \phi 50 \text{管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 \quad \text{FEP} \phi 50 \text{管控除}$ $\times 10.000$	0.900	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.496 \times 0.000 \times 10.000$	0.000	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V =$		m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 0.972 - 0.000 \div 0.9$	0.972	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工		$L =$		m
舗装版壊し工		$A =$		m <sup>2</sup>
廃材処理工		$V =$		m <sup>3</sup>
舗装工		$A =$		m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L =$		m
	W=600	$L =$		m

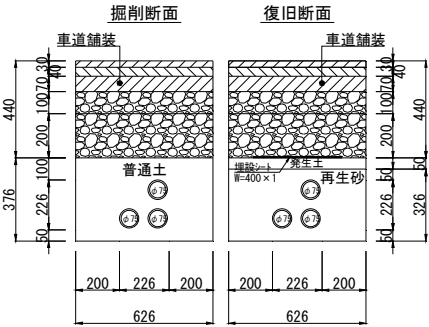


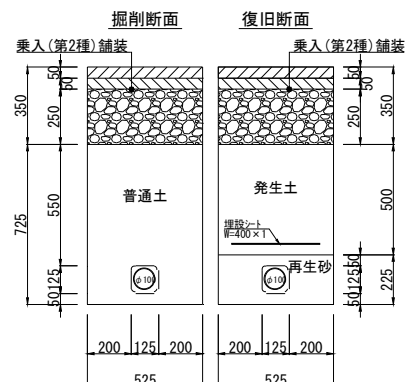
工 種	土 工 事	細 別	83	10 m 当り
(乗入部3種)				
				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = 0.525 \times 0.775 \times 10.000$	4.069	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 0.525 \times 0.250 \times 10.000$	1.313	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.525 \times 0.225$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 0 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 1 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000 \}$	1.025	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.525 \times 0.550 \times 10.000$	2.888	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 1.313$	1.313	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 4.069 - 2.888 \div 0.9$	0.860	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=5cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=5cm)	$A = 0.525 \times 10.000$	5.250	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=5cm)	$V = 0.525 \times 10.000 \times 0.050$	0.263	m <sup>3</sup>
舗装工	(乗入部3種) (t=30cm)	$A = 0.525 \times 10.000$	5.250	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m
	W=600	$L =$		m

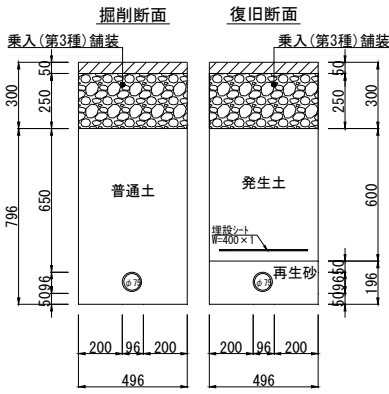
工 種	土 工 事	細 別	84	10 m当り
(側溝下)				
<div style="text-align: center;"> <p>掘削断面      復旧断面</p> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = 0.525 \times 0.225 \times 10.000$	1.181	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V =$		m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.525 \times 0.225$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 0 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 1 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000 \text{ )} \}$	1.025	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.525 \times 0.000 \times 10.000$	0.000	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V =$		m <sup>3</sup>
残土処理工	普通土	$V = 1.181 - 0.000 \div 0.9$	1.181	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工		$L =$		m
舗装版壊し工		$A =$		m <sup>2</sup>
廃材処理工		$V =$		m <sup>3</sup>
舗装工		$A =$		m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L =$		m
	W=600	$L =$		m

工 種	土 工 事	細 別	85	10 m 当り
(歩道部)				
				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = 0.638 \times 0.945 \times 10.000$	6.029	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 0.638 \times 0.100 \times 10.000$	0.638	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.638 \times 0.225$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 0 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 1 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 1 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000 \text{ )} \}$	1.207	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.638 \times 0.570 \times 10.000$	3.637	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 0.638$	0.638	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 6.029 - 3.637 \div 0.9$	1.988	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=3cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=3cm)	$A = 0.638 \times 10.000$	6.380	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=3cm)	$V = 0.638 \times 10.000 \times 0.030$	0.191	m <sup>3</sup>
舗装工	(歩道部) (t=28cm)	$A = 0.638 \times 10.000$	6.380	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m
	W=600	$L =$		m

工 種	土 工 事	細 別	86	10 m 当り
(側溝下)				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>復旧断面</p> </div> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = 0.638 \times 0.225 \times 10.000$	1.436	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V =$		m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.638 \times 0.225$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 0 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 1 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 1 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000 \text{ )} \}$	1.207	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.638 \times 0.000 \times 10.000$	0.000	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V =$		m <sup>3</sup>
残土処理工	普通土	$V = 1.436 - 0.000 \div 0.9$	1.436	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工		$L =$		m
舗装版壊し工		$A =$		m <sup>2</sup>
廃材処理工		$V =$		m <sup>3</sup>
舗装工		$A =$		m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L =$		m
	W=600	$L =$		m

工 種	土 工 事	細 別	87	10 m 当り
(車道部)				
				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = 0.626 \times 0.376 \times 10.000$	2.354	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 0.626 \times 0.300 \times 10.000$	1.878	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.626 \times 0.326$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 0 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 0 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 3 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000 \text{ )} \}$	1.824	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.626 \times 0.050 \times 10.000$	0.313	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 1.878$	1.878	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 2.354 - 0.313 \div 0.9$	2.006	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=14cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=14cm)	$A = 0.626 \times 10.000$	6.260	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=14cm)	$V = 0.626 \times 10.000 \times 0.140$	0.876	m <sup>3</sup>
舗装工	(車道部) (t=44cm)	$A = 0.626 \times 10.000$	6.260	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m
	W=600	$L =$		m

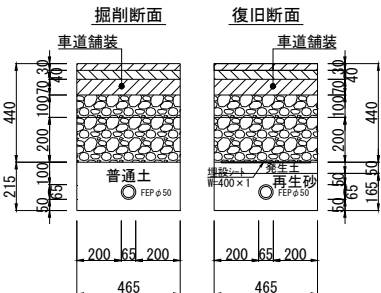
工 種	土 工 事	細 別	88	10 m 当り
(乗入部2種)				
				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = 0.525 \times 0.725 \times 10.000$	3.806	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 0.525 \times 0.250 \times 10.000$	1.313	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.525 \times 0.225$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 0 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 1 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000 \text{ )} \}$	1.025	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.525 \times 0.500 \times 10.000$	2.625	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 1.313$	1.313	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 3.806 - 2.625 \div 0.9$	0.889	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=10cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=10cm)	$A = 0.525 \times 10.000$	5.250	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=10cm)	$V = 0.525 \times 10.000 \times 0.100$	0.525	m <sup>3</sup>
舗装工	(乗入部2種) (t=35cm)	$A = 0.525 \times 10.000$	5.250	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m
	W=600	$L =$		m

工 種	土 工 事	細 別	90	10 m 当り
(乗入部3種)				
				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = 0.496 \times 0.796 \times 10.000$	3.948	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 0.496 \times 0.250 \times 10.000$	1.240	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.496 \times 0.196$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 0 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 0 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 1 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000 \text{ )} \}$	0.900	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.496 \times 0.600 \times 10.000$	2.976	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 1.240$	1.240	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 3.948 - 2.976 \div 0.9$	0.641	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=5cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=5cm)	$A = 0.496 \times 10.000$	4.960	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=5cm)	$V = 0.496 \times 10.000 \times 0.050$	0.248	m <sup>3</sup>
舗装工	(乗入部3種) (t=30cm)	$A = 0.496 \times 10.000$	4.960	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m
	W=600	$L =$		m

工 種	土 工 事	細 別	103	10 m 当り
(歩道部)				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>復旧断面</p> </div> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = (0.352 \times 0.905 + 0.565 \times 1.005) \times 10.000$	8.864	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = (0.352 + 0.565) \times 0.100 \times 10.000$	0.917	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.352 \times 0.387 + 0.565 \times 0.487$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 2 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 ) \} \text{ FEP } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000$	2.849	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.917 \times 0.368 \times 10.000$	3.375	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 0.917$	0.917	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 8.864 - 3.375 \div 0.9$	5.114	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=3cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=3cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=3cm)	$V = 0.917 \times 10.000 \times 0.030$	0.275	m <sup>3</sup>
舗装工	(歩道部) (t=28cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L =$		m
	W=600	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m



工 種	土 工 事	細 別	124	10 m 当り
(歩道部)				
<div style="text-align: center;"> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = 0.465 \times 0.485 \times 10.000$	2.255	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 0.465 \times 0.100 \times 10.000$	0.465	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.465 \times 0.165$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 0 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 0 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 1 \text{ )} \} \text{ FEP } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000$	0.734	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.465 \times 0.170 \times 10.000$	0.791	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 0.465$	0.465	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 2.255 - 0.791 \div 0.9$	1.376	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=3cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=3cm)	$A = 0.465 \times 10.000$	4.650	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=3cm)	$V = 0.465 \times 10.000 \times 0.030$	0.140	m <sup>3</sup>
舗装工	(歩道部) (t=28cm)	$A = 0.465 \times 10.000$	4.650	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m
	W=600	$L =$		m

工 種	土 工 事	細 別	125	10 m 当り
(車道部)				
				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = 0.465 \times 0.215 \times 10.000$	1.000	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 0.465 \times 0.300 \times 10.000$	1.395	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.465 \times 0.165$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 0 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 0 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 1 \text{ } \} \text{ FEP } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000$	0.734	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.465 \times 0.050 \times 10.000$	0.233	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 1.395$	1.395	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 1.000 - 0.233 \div 0.9$	0.741	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=14cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=14cm)	$A = 0.465 \times 10.000$	4.650	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=14cm)	$V = 0.465 \times 10.000 \times 0.140$	0.651	m <sup>3</sup>
舗装工	(車道部) (t=44cm)	$A = 0.465 \times 10.000$	4.650	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m
	W=600	$L =$		m

工 種	土 工 事	細 別	128	10 m 当り
(乗入部2種)				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = 0.465 \times 0.265 \times 10.000$	1.232	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 0.465 \times 0.250 \times 10.000$	1.163	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.465 \times 0.165$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 0 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 0 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 1 \text{ FEP } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000$	0.734	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.465 \times 0.100 \times 10.000$	0.465	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 1.163$	1.163	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 1.232 - 0.465 \div 0.9$	0.715	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=10cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=10cm)	$A = 0.465 \times 10.000$	4.650	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=10cm)	$V = 0.465 \times 10.000 \times 0.100$	0.465	m <sup>3</sup>
舗装工	(乗入部2種) (t=35cm)	$A = 0.465 \times 10.000$	4.650	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m
	W=600	$L =$		m

工 種	土 工 事	細 別	132	10 m当り
(歩道部)				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>復旧断面</p> </div> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = (0.352 \times 1.056 + 0.565 \times 1.230) \times 10.000$	10.667	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = (0.352 + 0.565) \times 0.100 \times 10.000$	0.917	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.352 \times 0.387 + 0.565 \times 0.561$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 2 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除} \} \times 10.000$	3.267	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.917 \times 0.519 \times 10.000$	4.759	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 0.917$	0.917	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 10.667 - 4.759 \div 0.9$	5.379	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=3cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=3cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=3cm)	$V = 0.917 \times 10.000 \times 0.030$	0.275	m <sup>3</sup>
舗装工	(歩道部) (t=28cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L =$		m
	W=600	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m

工 種	土 工 事	細 別	133	10 m当り
(乗入部3種)				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>復旧断面</p> </div> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = (0.352 \times 1.014 + 0.565 \times 1.285) \times 10.000$	10.830	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = (0.352 + 0.565) \times 0.250 \times 10.000$	2.293	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.352 \times 0.515 + 0.565 \times 0.786$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 2 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000$	4.989	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.917 \times 0.499 \times 10.000$	4.576	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 2.293$	2.293	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 10.830 - 4.576 \div 0.9$	5.746	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)	h=2.0m	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装切断工	As (t=5cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=5cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=5cm)	$V = 0.917 \times 10.000 \times 0.050$	0.459	m <sup>3</sup>
舗装工	(乗入部3種) (t=30cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L =$		m
	W=600	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m

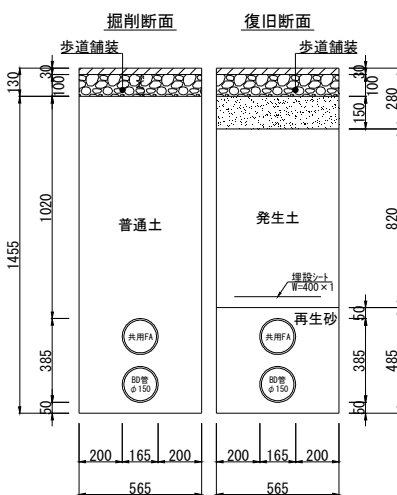
工 種	土 工 事	細 別	134	10 m 当り
(乗入部3種)				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>復旧断面</p> </div> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = (0.724 \times 1.292 + 0.193 \times 1.285) \times 10.000$	11.834	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = (0.724 + 0.193) \times 0.250 \times 10.000$	2.293	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.724 \times 0.492 + 0.193 \times 0.485$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 0 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 2 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 ) \} \text{ FEP } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000$	3.546	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.917 \times 0.800 \times 10.000$	7.336	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 2.293$	2.293	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 11.834 - 7.336 \div 0.9$	3.683	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)	h=2.0m	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装切断工	As (t=5cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=5cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=5cm)	$V = 0.917 \times 10.000 \times 0.050$	0.459	m <sup>3</sup>
舗装工	(乗入部3種) (t=30cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m
	W=600	$L =$		m

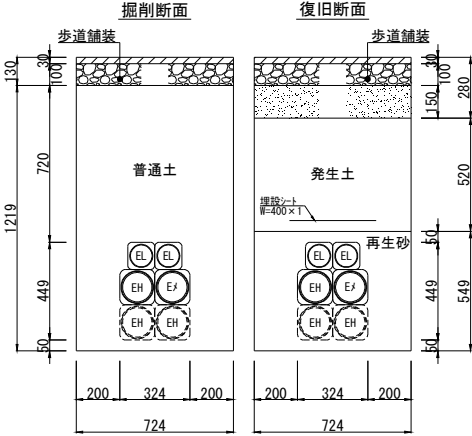
工 種	土 工 事	細 別	135	10 m当り
(乗入部3種)				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = (0.352 \times 1.090 + 0.565 \times 1.285) \times 10.000$	11.097	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = (0.352 + 0.565) \times 0.250 \times 10.000$	2.293	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.352 \times 0.515 + 0.565 \times 0.710$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 2 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 ) \} \text{ FEP } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000$	4.559	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.917 \times 0.575 \times 10.000$	5.273	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 2.293$	2.293	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 11.097 - 5.273 \div 0.9$	5.238	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)	h=2.0m	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装切断工	As (t=5cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=5cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=5cm)	$V = 0.917 \times 10.000 \times 0.050$	0.459	m <sup>3</sup>
舗装工	(乗入部3種) (t=30cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L =$		m
	W=600	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m

工 種	土 工 事	細 別	136	10 m当り
(歩道部)				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>復旧断面</p> </div> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = (0.352 \times 1.057 + 0.565 \times 1.455) \times 10.000$	11.941	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = (0.352 + 0.565) \times 0.100 \times 10.000$	0.917	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.352 \times 0.387 + 0.565 \times 0.785$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 2 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 ) \} \text{ FEP } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000$	4.532	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.917 \times 0.520 \times 10.000$	4.768	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 0.917$	0.917	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 11.941 - 4.768 \div 0.9$	6.643	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)	h=2.0m	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装切断工	As (t=3cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=3cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=3cm)	$V = 0.917 \times 10.000 \times 0.030$	0.275	m <sup>3</sup>
舗装工	(歩道部) (t=28cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L =$		m
	W=600	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m



工 種	土 工 事	細 別	137	10 m 当り
(歩道部)				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = 0.724 \times 1.057 \times 10.000$	7.653	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 0.724 \times 0.100 \times 10.000$	0.724	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.724 \times 0.387$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000$	1.965	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.724 \times 0.520 \times 10.000$	3.765	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 0.724$	0.724	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 7.653 - 3.765 \div 0.9$	3.470	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=3cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=3cm)	$A = 0.724 \times 10.000$	7.240	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=3cm)	$V = 0.724 \times 10.000 \times 0.030$	0.217	m <sup>3</sup>
舗装工	(歩道部) (t=28cm)	$A = 0.724 \times 10.000$	7.240	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m
	W=600	$L =$		m

工 種	土 工 事	細 別	138	10 m 当り
(歩道部)				
				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = 0.565 \times 1.455 \times 10.000$	8.221	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 0.565 \times 0.100 \times 10.000$	0.565	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.565 \times 0.485$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 0 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 0 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 2 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000 \text{ )} \}$	2.313	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.565 \times 0.820 \times 10.000$	4.633	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 0.565$	0.565	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 8.221 - 4.633 \div 0.9$	3.073	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)	h=2.0m	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装切断工	As (t=3cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=3cm)	$A = 0.565 \times 10.000$	5.650	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=3cm)	$V = 0.565 \times 10.000 \times 0.030$	0.170	m <sup>3</sup>
舗装工	(歩道部) (t=28cm)	$A = 0.565 \times 10.000$	5.650	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m
	W=600	$L =$		m

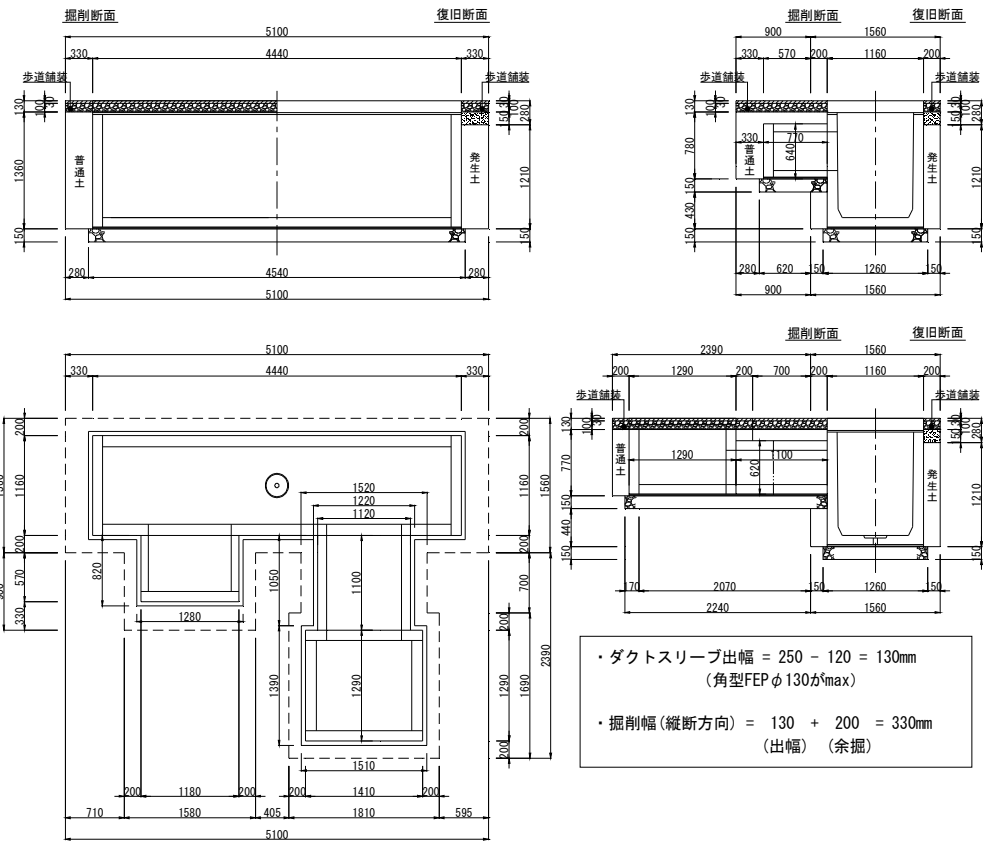
工 種	土 工 事	細 別	139	10 m 当り
(歩道部)				
				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = 0.724 \times 1.219 \times 10.000$	8.826	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 0.724 \times 0.100 \times 10.000$	0.724	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.724 \times 0.549$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 4$ 角型FEPφ130管控除 $+ 0.125 \times 0.125 \times 2$ 角型FEPφ100管控除 $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 0$ φ150管控除 $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0$ φ200管控除 $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0$ φ75管控除 $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0$ φ50管控除 $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 ) \}$ FEPφ50管控除 $\times 10.000$	2.613	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.724 \times 0.520 \times 10.000$	3.765	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 0.724$	0.724	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 8.826 - 3.765 \div 0.9$	4.643	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=3cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=3cm)	$A = 0.724 \times 10.000$	7.240	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=3cm)	$V = 0.724 \times 10.000 \times 0.030$	0.217	m <sup>3</sup>
舗装工	(歩道部) (t=28cm)	$A = 0.724 \times 10.000$	7.240	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m
	W=600	$L =$		m

工 種	土 工 事	細 別	140	10 m当り
(歩道部)				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>復旧断面</p> </div> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = (0.352 \times 1.219 + 0.565 \times 1.455) \times 10.000$	12.512	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = (0.352 + 0.565) \times 0.100 \times 10.000$	0.917	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.352 \times 0.549 + 0.565 \times 0.785$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 4 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 2 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 ) \} \text{ FEP } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000$	4.578	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.917 \times 0.520 \times 10.000$	4.768	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 0.917$	0.917	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 12.512 - 4.768 \div 0.9$	7.214	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)	h=2.0m	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装切断工	As (t=3cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=3cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=3cm)	$V = 0.917 \times 10.000 \times 0.030$	0.275	m <sup>3</sup>
舗装工	(歩道部) (t=28cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L =$		m
	W=600	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m

工 種	土 工 事	細 別	141	10 m 当り
(歩道部)				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>復旧断面</p> </div> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = (0.352 \times 1.422 + 0.565 \times 1.455) \times 10.000$	13.226	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = (0.352 + 0.565) \times 0.100 \times 10.000$	0.917	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.352 \times 0.677 + 0.565 \times 0.710$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 4 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 2 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 2 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 ) \} \text{ FEP } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000$	4.605	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.917 \times 0.595 \times 10.000$	5.456	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 0.917$	0.917	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 13.226 - 5.456 \div 0.9$	7.164	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)	h=2.0m	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装切断工	As (t=3cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=3cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=3cm)	$V = 0.917 \times 10.000 \times 0.030$	0.275	m <sup>3</sup>
舗装工	(歩道部) (t=28cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L =$		m
	W=600	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m

工 種	土 工 事	細 別	142	10 m 当り
(歩道部)				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>復旧断面</p> </div> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = (0.724 \times 1.624 + 0.193 \times 1.455) \times 10.000$	14.566	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = (0.724 + 0.193) \times 0.100 \times 10.000$	0.917	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.724 \times 0.654 + 0.193 \times 0.485$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 4 \text{ 角型FEP } \phi 130 \text{ 管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 0 \text{ 角型FEP } \phi 100 \text{ 管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 2 \text{ } \phi 150 \text{ 管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 200 \text{ 管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 75 \text{ 管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \text{ } \phi 50 \text{ 管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 ) \} \text{ FEP } \phi 50 \text{ 管控除}$ $\times 10.000$	4.194	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.917 \times 0.820 \times 10.000$	7.519	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 0.917$	0.917	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 14.566 - 7.519 \div 0.9$	6.212	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)	h=2.5m	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装切断工	As (t=3cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=3cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=3cm)	$V = 0.917 \times 10.000 \times 0.030$	0.275	m <sup>3</sup>
舗装工	(歩道部) (t=28cm)	$A = 0.917 \times 10.000$	9.170	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m
	W=600	$L =$		m

工 種	土 工 事	細 別	185	10 m 当り
(歩道部)				
<div style="text-align: center;"> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = 0.724 \times 0.622 \times 10.000$	4.503	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 0.724 \times 0.100 \times 10.000$	0.724	m <sup>3</sup>
埋戻し工	砂 (再生砂)	$V = \{ 0.724 \times 0.262$ $- ( 0.162 \times 0.162 \times 2 \quad \text{角型FEP} \phi 130 \text{管控除}$ $+ 0.125 \times 0.125 \times 0 \quad \text{角型FEP} \phi 100 \text{管控除}$ $+ 0.165^2 \times \pi/4 \times 0 \quad \phi 150 \text{管控除}$ $+ 0.216^2 \times \pi/4 \times 0 \quad \phi 200 \text{管控除}$ $+ 0.096^2 \times \pi/4 \times 0 \quad \phi 75 \text{管控除}$ $+ 0.060^2 \times \pi/4 \times 0 \quad \phi 50 \text{管控除}$ $+ 0.065^2 \times \pi/4 \times 0 ) \} \text{FEP} \phi 50 \text{管控除}$ $\times 10.000$	1.372	m <sup>3</sup>
	発生土	$V = 0.724 \times 0.210 \times 10.000$	1.520	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 0.724$	0.724	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 4.503 - 1.520 \div 0.9$	2.814	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L =$		m
舗装切断工	As (t=3cm)	$L = 10.000 \times 2$	20.000	m
舗装版壊し工	As (t=3cm)	$A = 0.724 \times 10.000$	7.240	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=3cm)	$V = 0.724 \times 10.000 \times 0.030$	0.217	m <sup>3</sup>
舗装工	(歩道部) (t=28cm)	$A = 0.724 \times 10.000$	7.240	m <sup>2</sup>
埋設シート	W=400	$L = 10.000 \times 1$	10.000	m
	W=600	$L =$		m

工 種	土 工 事	細 別	特-9 : 特殊部Ⅱ型 (900×1200×4200)	10 基当り
(歩道部)				
				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = ( 1.560 \times 5.100 \times 1.360 + 1.260 \times 4.540 \times 0.150 + 0.900 \times 1.580 \times 0.780 + 0.620 \times 1.280 \times 0.150 + 0.700 \times 1.520 \times 0.770 + 0.850 \times 1.220 \times 0.150 + 1.690 \times 1.810 \times 0.770 + 1.390 \times 1.510 \times 0.150 ) \times 10$	165.514	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = ( 1.560 \times 5.100 + 0.900 \times 1.580 + 0.700 \times 1.520 + 1.690 \times 1.810 ) \times 0.100 \times 10$	13.501	m <sup>3</sup>
埋戻し工	発生土	$V = ( 1.560 \times 5.100 \times 1.210 + 0.900 \times 1.580 \times 0.630 + 0.700 \times 1.520 \times 0.620 + 1.690 \times 1.810 \times 0.620 - 1.160 \times 4.440 \times 1.210 - 0.770 \times 1.180 \times 0.640 - 1.100 \times 1.120 \times 0.620 - 1.290 \times 1.410 \times 0.620 - 0.200 \times ( 1.280 + 1.220 ) \times 0.150 ) \times 10$	42.988	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 13.501$	13.501	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 165.514 - 42.988 \div 0.9$	117.750	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L = ($		m
舗装切断工	As (t=3cm)	$L = ( ( 1.560 + 5.100 + 0.900 + 2.390 ) \times 2 - 1.520 + 1.810 + 1.810 - 1.520 ) \times 10$	204.800	m
舗装版壊し工	As (t=3cm)	$A = ( 1.560 \times 5.100 + 0.900 \times 1.580 + 0.700 \times 1.520 + 1.690 \times 1.810 ) \times 10$	135.009	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=3cm)	$V = ( 1.560 \times 5.100 + 0.900 \times 1.580 + 0.700 \times 1.520 + 1.690 \times 1.810 ) \times 0.030 \times 10$	4.050	m <sup>3</sup>
舗装工	(歩道部) (t=28cm)	$A = 135.009 - ( 1.160 \times 4.440 + 1.290 \times 1.410 ) \times 10$	65.316	m <sup>2</sup>



工 種	土 工 事	細 別	特-14 : 通信接続樹 (500×1050×2000)	10 基当り
(歩道部)				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面      復旧断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面      復旧断面</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px; text-align: center;"> </div> <div style="margin-top: 20px; border: 1px solid black; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ダクトスリーブ出幅 = 305 - 100 = 205mm (VPφ150がmax)</li> <li>・掘削幅(縦断方向) = 205 + 200 = 405mm (出幅) (余掘)</li> </ul> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = (1.100 \times 3.010 \times 1.180 + 0.720 \times 2.300 \times 0.150) \times 10$	41.554	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 1.100 \times 3.010 \times 0.100 \times 10$	3.311	m <sup>3</sup>
埋戻し工	発生土	$V = (1.100 \times 3.010 \times 1.030 - 0.700 \times 2.200 \times 1.030) \times 10$	18.241	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 3.311$	3.311	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 41.554 - 18.241 \div 0.9$	21.286	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L = ($		m
舗装切断工	As (t=3cm)	$L = (1.100 + 3.010) \times 2 \times 10$	82.200	m
舗装版壊し工	As (t=3cm)	$A = 1.100 \times 3.010 \times 10$	33.110	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=3cm)	$V = 1.100 \times 3.010 \times 0.030 \times 10$	0.993	m <sup>3</sup>
舗装工	(歩道部) (t=28cm)	$A = (1.100 \times 3.010 - 0.700 \times 2.200) \times 10$	17.710	m <sup>2</sup>

工 種	土 工 事	細 別	分-1 : 分岐樹 (400×500×1000)	10 基当り
(歩道部)				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> <p>掘削断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>復旧断面</p> <p>復旧断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> <p>掘削断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>復旧断面</p> <p>復旧断面</p> </div> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = (0.980 \times 1.780 \times 0.650 + 0.680 \times 1.280 \times 0.100) \times 10$	12.209	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 0.980 \times 1.780 \times 0.100 \times 10$	1.744	m <sup>3</sup>
埋戻し工	発生土	$V = (0.980 \times 1.780 \times 0.500 - 0.580 \times 1.180 \times 0.500) \times 10$	5.300	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 1.744$	1.744	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 12.209 - 5.300 \div 0.9$	6.320	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L = ($		m
舗装切断工	As (t=3cm)	$L = (0.980 + 1.780) \times 2 \times 10$	55.200	m
舗装版壊し工	As (t=3cm)	$A = 0.980 \times 1.780 \times 10$	17.444	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=3cm)	$V = 0.980 \times 1.780 \times 0.030 \times 10$	0.523	m <sup>3</sup>
舗装工	(歩道部) (t=28cm)	$A = (0.980 \times 1.780 - 0.630 \times 1.180) \times 10$	10.010	m <sup>2</sup>

工 種	土 工 事	細 別	分-7 : 分岐柵 (400×500×2000)	10 基当り
(乗入部2種)				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = (0.980 \times 2.780 \times 0.430 + 0.680 \times 2.280 \times 0.100) \times 10$	13.265	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 0.980 \times 2.780 \times 0.250 \times 10$	6.811	m <sup>3</sup>
埋戻し工	発生土	$V = (0.980 \times 2.780 \times 0.430 - 0.580 \times 2.180 \times 0.430) \times 10$	6.278	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 6.811$	6.811	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 13.265 - 6.278 \div 0.9$	6.289	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L = ($		m
舗装切断工	As (t=10cm)	$L = (0.980 + 2.780) \times 2 \times 10$	75.200	m
舗装版壊し工	As (t=10cm)	$A = 0.980 \times 2.780 \times 10$	27.244	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=10cm)	$V = 0.980 \times 2.780 \times 0.100 \times 10$	2.724	m <sup>3</sup>
舗装工	(乗入部2種) (t=35cm)	$A = (0.980 \times 2.780 - 0.630 \times 2.180) \times 10$	13.510	m <sup>2</sup>

工 種	土 工 事	細 別	分-10 : 分岐樹 (400×1000×1000)	10 基当り
(歩道部)				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> <p>復旧断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> <p>復旧断面</p> </div> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = ( 1.030 \times 1.780 \times 1.150 + 0.730 \times 1.280 \times 0.100 ) \times 10$	22.019	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 1.030 \times 1.780 \times 0.100 \times 10$	1.833	m <sup>3</sup>
埋戻し工	発生土	$V = ( 1.030 \times 1.780 \times 1.000 - 0.630 \times 1.180 \times 1.000 ) \times 10$	10.900	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 1.833$	1.833	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 22.019 - 10.900 \div 0.9$	9.908	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L = ($		m
舗装切断工	As (t=3cm)	$L = ( 1.030 + 1.780 ) \times 2 \times 10$	56.200	m
舗装版壊し工	As (t=3cm)	$A = 1.030 \times 1.780 \times 10$	18.334	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=3cm)	$V = 1.030 \times 1.780 \times 0.030 \times 10$	0.550	m <sup>3</sup>
舗装工	(歩道部) (t=28cm)	$A = ( 1.030 \times 1.780 - 0.630 \times 1.180 ) \times 10$	10.900	m <sup>2</sup>

工 種	土 工 事	細 別	分-11 : 分岐樹 (400×1000×1000)	10 基当り
(乗入部3種)				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>復旧断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>掘削断面</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>復旧断面</p> </div> </div>				
工 種	細 目	計 算 式	数 量	単位
掘削工	普通土	$V = ( 1.030 \times 1.780 \times 0.980 + 0.730 \times 1.280 \times 0.100 ) \times 10$	18.902	m <sup>3</sup>
	路盤材	$V = 1.030 \times 1.780 \times 0.250 \times 10$	4.584	m <sup>3</sup>
埋戻し工	発生土	$V = ( 1.030 \times 1.780 \times 0.980 - 0.630 \times 1.180 \times 0.980 ) \times 10$	10.682	m <sup>3</sup>
残土処理工	路盤材	$V = 4.584$	4.584	m <sup>3</sup>
	普通土	$V = 18.902 - 10.682 \div 0.9$	7.033	m <sup>3</sup>
土留工 (軽量鋼矢板)		$L = ($		m
舗装切断工	As (t=5cm)	$L = ( 1.030 + 1.780 ) \times 2 \times 10$	56.200	m
舗装版壊し工	As (t=5cm)	$A = 1.030 \times 1.780 \times 10$	18.334	m <sup>2</sup>
廃材処理工	As (t=5cm)	$V = 1.030 \times 1.780 \times 0.050 \times 10$	0.917	m <sup>3</sup>
舗装工	(乗入部3種) (t=30cm)	$A = ( 1.030 \times 1.780 - 0.630 \times 1.180 ) \times 10$	10.900	m <sup>2</sup>

### 3. 本体工数量

本体工集計表-1

工 種		単位	数 量			備 考
工 種	規格・寸法		本管	連系管 引込管	合計	
(本体工)						
管路材設置工						
	角型FEPφ130					
単管路	直管+曲管	m	305.0		305.0	
ロングベルマウス	L=250mm	個	12		12	
継手	オスアダプター	個	6		6	
	角型FEPφ100					
単管路	直管+曲管	m	268.4	9.4	277.8	
ロングベルマウス	L=190mm	個	24	5	29	
継手	オス-オスアダプター	個	12		12	
	VPφ150(共用FA管)					
単管路	直管 L=5.0m	m	136.5		136.5	
	曲管 L=1.0m	m	4.6		4.6	
ダクトスリーブ	L=305mm	個	6		6	
ヤリトリ継手	VPφ150用	個	3		3	
管枕	VPφ150用(ピッチ220)	個	71		71	
管止め用キャップ	VPφ150用	個				
	VPφ150(ボディ管)					
単管路	直管 L=5.0m	m	128.0		128.0	
	曲管 L=1.0m	m	4.6		4.6	
ダクトスリーブ	L=305mm	個	6		6	
ロータス管	起点用	個	3		3	
	終点用	個	3		3	
スライド管	VPφ150用	個	3		3	
管枕	VPφ150用	個	142		142	
	SUφ50(ボディ管内さや管)					
単管路	直管 L=5.0m	m				
端末部用短管	φ50用 L=1.10m	本				
	SUφ30(ボディ管内さや管)					
単管路	直管 L=5.0m	m	396.93		396.9	
端末部用短管	φ30用 L=1.10m	本	18		18	

[illegible]



本体工集計表-3

工 種		単位	数 量			備 考
工 種	規格・寸法		本管	連系管 引込管	合計	
(本体工)						
特殊部設置工						
特殊部本体	特殊部Ⅰ型 1200×1350×3300	箇所				特殊部構造図(1)
	特殊部Ⅰ型 1200×1500×3300 地上機器横置1基	箇所				特殊部構造図(2)
	特殊部Ⅱ型(電力) 900×1200×2200 地上機器直上1基	箇所				特殊部構造図(3)
	特殊部Ⅱ型(電力) 900×1200×2200 横断開口1000×450, 地上機器直上1基	箇所				特殊部構造図(4)
	特殊部Ⅱ型(電力) 900×1200×2200 地上機器横置1基	箇所				特殊部構造図(5)
	特殊部Ⅱ型(電力) 900×1200×4200 横断開口1000×450, 地上機器横置1基	箇所	1		1	特殊部構造図(6)
	特殊部Ⅱ型(通信) 950×1500×2200	箇所				特殊部構造図(7)
	特殊部Ⅱ型(通信) 950×1500×2200 横断開口350×300	箇所				特殊部構造図(8)
	通信接続樹 500×1050×2000	箇所	2		2	特殊部構造図(9)
サイドボックス	1000×450×650	箇所	1		1	特殊部構造図(6)
ダクトブロック	450×400×100	箇所				
地上機器横置用 ハンドホール	1050×700×1150	箇所	1		1	特殊部構造図(6)
	1050×750×1150	箇所				
特殊部蓋	特殊部Ⅰ型用 1200×3300	箇所				特殊部蓋構造図(1)
	特殊部Ⅰ,Ⅱ型用 φ750歩道用	箇所				特殊部蓋構造図(2)
	特殊部Ⅱ型用 900×2200	箇所				特殊部蓋構造図(3)
	特殊部Ⅱ型用 900×2200 地上機器直上1基	箇所				特殊部蓋構造図(4)
	特殊部Ⅱ型用 900×4200	箇所	1		1	特殊部蓋構造図(5)
	通信接続樹用 500×2000	箇所	2		2	特殊部蓋構造図(6)
	地上機器横置用 1050×1150	箇所	1		1	特殊部蓋構造図(7)
分岐樹	分岐樹 400×500×1000	箇所	2		2	
	分岐樹 400×800×1000	箇所				
	分岐樹 400×1000×1000	箇所	2		2	
	分岐樹 400×500×2000	箇所	1		1	
	分岐樹 400×800×2000	箇所				
	分岐樹 400×1000×2000	箇所				
分岐樹蓋	分岐樹用蓋 400×1000	箇所	4		4	
	分岐樹用蓋 400×2000	箇所	1		1	
基 礎 工	敷きモルタル (1:3 t= 2cm)	m3	0.24		0.24	特殊部
	敷きモルタル (1:3 t= 2cm)	m3	0.09		0.09	分岐樹部
	基礎碎石 (RC-40 t=15cm)	m3	2.04		2.04	特殊部 A=13.60m2
	基礎碎石 (RC-40 t=10cm)	m3	0.52		0.52	分岐樹部 A=5.20m2

管路材集計表（本管）-1

工 種		単位	数 量	備 考
工 種	規格・寸法		本管	
(本体工)				
管路材設置工				
	角型FEP φ130			
単管路	直管+曲管	m	305.02	
ロングベルマウス	L=250mm	個	12	
継手	オスアダプター	個	6	
	角型FEP φ100			
単管路	直管+曲管	m	268.36	
ロングベルマウス	L=190mm	個	24	
継手	オス-オスアダプター	個	12	
	VP φ150(共用FA管)			
単管路	直管 L=5.0m	m	136.53	
	曲管 L=1.0m	m	4.63	
ダクトスリーブ	L=305mm	個	6	
ヤリトリ継手	VP φ150用	個	3	
管枕	VP φ150用(ピッチ220)	個	71	
管止め用キャップ	VP φ150用	個		
	VP φ150(ボディ管)			
単管路	直管 L=5.0m	m	128.01	
	曲管 L=1.0m	m	4.63	
ダクトスリーブ	L=305mm	個	6	
ロータス管	起点用	個	3	
	終点用	個	3	
スライド管	VP φ150用	個	3	
管枕	VP φ150用	個	142	
	SU φ50(ボディ管内さや管)			
単管路	φ50 L=5.0m	m		
端末部用短管	φ50用 L=1.10m	本		
	SU φ30(ボディ管内さや管)			
単管路	φ30 L=5.0m	m	396.93	(直)383.04+(曲)13.89
端末部用短管	φ30用 L=1.10m	本	18	

○管路数量表（電力：角型FEPφ130）

本管

特殊部区間	管 路									ロングベルマウス 控除 L=0.250m	オスアダプター	
	種 別	条 数	計測延長	管 路 延 長			総 延 長					
				直線部	曲線部	計	直線部	曲線部	計			
				(条)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)			(m)
				①	②	③	④	⑤	⑥			⑦
図面より	図面より	⑤-④	図面より	下記参照	③×①	④×①	⑥+⑦	図面より	図面より			
特殊部Ⅰ型L-5～特殊部Ⅱ型L-8	E-1	2	136.390	126.810	9.080	135.890	253.620	18.160	271.780	4	2	
特殊部Ⅱ型L-8～分岐樹L-B10	E-1	2	5.980	2.220	3.260	5.480	4.440	6.520	10.960	4	2	
特殊部Ⅱ型L-8～特殊部Ⅱ型R-9	OD-1	2	11.640	5.490	5.650	11.140	10.980	11.300	22.280	4	2	
合 計									305.020	12	6	

⑤：②-ロングベルマウス控除延長×(⑨/①)

⑩：特殊部間毎に 1 個設置

○管路数量表（電力：角型FEPφ100）分岐柵用

本管

[illegible]

⑤：②-ロングベルマウス控除延長×(⑨/①)

⑩：特殊部間毎に 1 個設置

○管路数量表 (通信: 共用FA管VPφ150)

本管

[illegible]

⑤：②-ダクトスリーブ控除延長×(⑧/①)-ヤリトリ継手控除延長

⑪:  $\text{ROUNDUP}((\text{③}+\text{ヤリトリ継手控除延長} \times (\text{⑨}/\text{①}))/2.0)-1+\text{ROUNDUP}(\text{④}/1.0)$

2.0 m毎に1箇所 ※曲管は1本(1.0m)に1箇所

⑨：特殊部間毎に 1 個設置

本管

⑤：②-ダクトスリーブ控除延長×(⑧/①)-ロータス管控除延長-スライド管控除延長  
⑨、⑩⑪：特殊部間毎に1個設置  
⑬：ROUNDUP((③+ロータス管控除延長+スライド管控除延長)/2.0)-1+ROUNDUP(④/1.0)  
2.0 m毎に1箇所 ※曲管は1本(1.0m)に1箇所

○管路数量表（通信：ボディ管内さや管SUφ30）

本管

[illegible]

⑤：②-端末用単管控除延長×(⑧/①)-端末部余裕代長×⑨

[illegible][illegible]



○管路数量表（電力：角型FEPφ100）：1/2

連系管・引込管

[illegible]

⑤：②-ロングベルマウス控除延長×(⑨/①)

⑩：特殊部間毎に 1 個設置

## 連系管・引込管

2.0 m毎に1箇所 ※曲管は1本(1.0m)に1箇所

○管路数量表 (通信 : 共用FA引込管φ75) : 1/2

## 引込管

特殊部区間	管 路								ダクトリブ 控除 L=0.190m	分岐管 φ75	分散管 φ75控除 L=0.245m	備 考
	種 別	条 数	計測延長	管 路 延 長			総 延 長					
				直 管	曲 管	計	直 管	曲 管				
(条)	(m)	(m)	(m)	(m)	(個)	(個)	(個)					
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩			
図面より	図面より	⑤-④	図面より	下記参照	③×①	④×①	図面より	図面より	図面より			
通信接続柵L-6～通信接続柵L-7	T	1	2.000	1.755		1.755	1.755			1	1	
通信接続柵L-6～通信接続柵L-7	T	1	2.000	1.755		1.755	1.755			1	1	
通信接続柵L-7～通信接続柵L-9	T	1	1.270	1.025		1.025	1.025			1	1	
通信接続柵L-7～通信接続柵L-9	T	1	1.350	1.105		1.105	1.105			1	1	
合 計							5.640			4	4	

⑤：②-ダクトスリーブ控除延長×(⑧/①)-分散管控除延長

# 特殊部集計表

工 種		単 位	数 量	備 考
工 種	規格・寸法		特殊部	
(本体工)				
特殊部設置工				
特殊部本体	特殊部Ⅰ型 1200×1350×3300	箇所		特殊部構造図(1)
	特殊部Ⅰ型 1200×1500×3300 地上機器横置1基	箇所		特殊部構造図(2)
	特殊部Ⅱ型(電力) 900×1200×2200 地上機器直上1基	箇所		特殊部構造図(3)
	特殊部Ⅱ型(電力) 900×1200×2200 横断開口1000×450, 地上機器直上1基	箇所		特殊部構造図(4)
	特殊部Ⅱ型(電力) 900×1200×2200 地上機器横置1基	箇所		特殊部構造図(5)
	特殊部Ⅱ型(電力) 900×1200×4200 横断開口1000×450, 地上機器横置1基	箇所	1	特殊部構造図(6)
	特殊部Ⅱ型(通信) 950×1500×2200	箇所		特殊部構造図(7)
	特殊部Ⅱ型(通信) 950×1500×2200 横断開口350×300	箇所		特殊部構造図(8)
	通信接続柵 500×1050×2000	箇所	2	特殊部構造図(9)
サイドボックス	1000×450×650	箇所	1	特殊部構造図(6)
ダクトブロック	450×400×100	箇所		
地上機器横置用 ハンドホール	1050×700×1150	箇所	1	特殊部構造図(6)
	1050×750×1150	箇所		
特殊部蓋	特殊部Ⅰ型用 1200×3300	箇所		特殊部蓋構造図(1)
	特殊部Ⅰ,Ⅱ型用 φ750歩道用	箇所		特殊部蓋構造図(2)
	特殊部Ⅱ型用 900×2200	箇所		特殊部蓋構造図(3)
	特殊部Ⅱ型用 900×2200 地上機器直上1基	箇所		特殊部蓋構造図(4)
	特殊部Ⅱ型用 900×4200	箇所	1	特殊部蓋構造図(5)
	通信接続柵用 500×2000	箇所	2	特殊部蓋構造図(6)
	地上機器横置用 1050×1150	箇所	1	特殊部蓋構造図(7)
分岐柵	分岐柵 400×500×1000	箇所	2	
	分岐柵 400×800×1000	箇所		
	分岐柵 400×1000×1000	箇所	2	
	分岐柵 400×500×2000	箇所	1	
	分岐柵 400×800×2000	箇所		
	分岐柵 400×1000×2000	箇所		
分岐柵蓋	分岐柵用蓋 400×1000	箇所	4	
	分岐柵用蓋 400×2000	箇所	1	
基 礎 工	敷きモルタル (1:3 t= 2cm)	m <sup>3</sup>	0.24	特殊部
	敷きモルタル (1:3 t= 2cm)	m <sup>3</sup>	0.09	分岐柵部
	基礎砕石 (RC-40 t=15cm)	m <sup>3</sup>	2.04	特殊部 A=13.60m <sup>2</sup>
	基礎砕石 (RC-40 t=10cm)	m <sup>3</sup>	0.52	分岐柵部 A=5.20m <sup>2</sup>

## 特殊部数量計算書1

[illegible]

[illegible][illegible]

[illegible]

---

---

## 特殊部蓋数量計算書1

[illegible]



[illegible]

---

1

[illegible][illegible]

特殊部等基礎工数量計算書

形 式	名 称	設置数 (箇所)	基礎工				備 考
			敷モルタル		基礎碎石 (RC-40)		
			単位数量	合計数量	単位数量	合計数量	
特殊部	特殊部Ⅰ型 1200×1350×3300		0.103		0.852		
	特殊部Ⅰ型 1200×1500×3300		0.123		1.009		
	特殊部Ⅱ型 900x1200x2200		0.053		0.450		
	特殊部Ⅱ型 900x1200x2200		0.063		0.535		
	特殊部Ⅱ型 900x1200x4200	1	0.128	0.13	1.059	1.06	敷モルタル t=20mm 基礎碎石 t=150mm
	特殊部Ⅱ型 950×1500×2200		0.055		0.468		
	通信接続桧 500×1050×2000	2	0.027	0.05	0.249	0.50	敷モルタル t=20mm 基礎碎石 t=150mm
ハンドホール	1050×700×1150	1	0.036	0.04	0.315	0.32	敷モルタル t=20mm 基礎碎石 t=150mm
	1050×750×1150		0.036		0.315		
サイドボックス	1000×450×650	1	0.018	0.02	0.157	0.16	敷モルタル t=20mm 基礎碎石 t=150mm
分岐桧	400×500(800)×1000	2	0.014	0.03	0.087	0.17	敷モルタル t=20mm 基礎碎石 t=100mm
	400×1000×1000	2	0.015	0.03	0.093	0.19	敷モルタル t=20mm 基礎碎石 t=100mm
	400×500(800)×2000	1	0.025	0.03	0.155	0.16	敷モルタル t=20mm 基礎碎石 t=100mm
	400×1000×2000		0.027		0.166		
合 計				0.33		2.56	
特殊部計				0.24		2.04	A=13.60m2
分岐桧計				0.09		0.52	A=5.20m2

#### 4. 雜工数量

## 雜工集計表

[illegible]

雑工集計表

工 種		単位							
			雑工平面図 (2/6)	雑工平面図 (3/6)					合 計
街きよ (一般部)	撤 去	m		3.37					3.37
	復 旧			3.37					3.37
街きよ (切下部)	撤 去	m							
	復 旧								
街きよ (平坦部)	撤 去	m	1.62						1.62
	復 旧		3.09						3.09
植樹枿	撤 去	箇所							
	復 旧								
植樹帯	撤 去	m							
	復 旧								
中木	撤 去	本							
	復 旧								
防護柵 (地上機器用)	設 置	箇所		1					1

## 書 調 長 延 工 雜

【 雑工平面図 (2/6) 】

[illegible]

## 書 調 長 延 工 雜

【 雑工平面図 (3/6) 】

工 種		単位	下り線側						上り線側						合 計
街きよ (一般部)	撤 去	m	3.37												3.37
	復 旧		3.37												3.37
街きよ (切下部)	撤 去	m													
	復 旧														
街きよ (平坦部)	撤 去	m													
	復 旧														
植樹柵	撤 去	箇所													
	復 旧														
植樹帯	撤 去	m													
	復 旧														
中木	撤 去	本													
	復 旧														
防護柵 (地上機器用)	設 置	箇所	1												1



雑工計算書

区分	細 別	雑工平面図より			撤 去	復 旧			備 考
		街 渠(m)			Co廃材処理(m³)	歩車道境界ブロック(m)			
		(一般部)	(乗入部)	(平坦部)	(無筋)	(一般部)	(乗入部)	(平坦部)	
		数 量	数 量	数 量	数 量	数 量	数 量	数 量	
構造物									
	雑工平面図	3.37			0.64	3.37			
				1.62	0.21			3.09	
合 計		3.37		1.62	0.85	3.37		3.09	

単位数量計算書

名称：街渠撤去(一般部)

図 面

M 型

F 型

〔適用条件〕

一般車両（T-2 5相当）の影響を考慮する場合で、歩道部がマウンドアップタイプにはM型、フラットタイプ及びセミフラットタイプにはF型を使用する。

〔仕 様〕

- 歩車道境界ブロックは、片面R・両面R共 L=2,000mmを標準とする。
- コンクリート② 呼び強度  $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
- 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。  
なお、路盤の上に設置する場合には基礎材は不要である。
- 伸縮目地間隔は1.0m以内とする。

〔設計表示方法〕

LS3- ( ) -T ( ) -K ( ) -L=〇〇m  
(型) (エプロン厚) (基礎材の種類) (延長)

記 号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）
K 3	基礎材なし

M 型

記 号	寸法表 (mm)		参 考 数 量 表 (1.0m当り)					
	T	t	コンクリート (m3)	型枠 (m2)	ブロック数量 (個)	基礎材 (m3)	基礎材 (m2)	伸縮目地 (m2)
LS3-M-T 180	180	50	0.9	2	5 (16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 190	190	60	1.0	3	5 (16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 200	200	70	1.1	3	5 (16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 210	210	80	1.2	3	5 (16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 220	220	90	1.2	3	5 (16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 260	260	130	1.5	4	5 (16.5)	0.8	8	0.2
LS3-M-T 270	270	140	1.6	4	5 (16.5)	0.8	8	0.2

※寸法 T は、車道部舗装構成の表層、基層、及び粒調砕石を加えた厚さである。  
※ブロック個数 ( ) 内は、ブロック長 L=60cm の数量である。

歩車道境界ブロック (片面 R)

F 型

記 号	寸法表 (mm)		参 考 数 量 表 (1.0m当り)					
	T	t	コンクリート (m3)	型枠 (m2)	ブロック数量 (個)	基礎材 (m3)	基礎材 (m2)	伸縮目地 (m2)
LS3-F-T 180	180	150	1.2	3	5 (16.5)	0.9	9	0.1
LS3-F-T 190	190	160	1.2	4	5 (16.5)	0.9	9	0.1
LS3-F-T 200	200	170	1.3	4	5 (16.5)	0.9	9	0.1
LS3-F-T 210	210	180	1.4	4	5 (16.5)	0.9	9	0.1
LS3-F-T 220	220	190	1.5	4	5 (16.5)	0.9	9	0.2
LS3-F-T 260	260	230	1.8	5	5 (16.5)	0.9	9	0.2
LS3-F-T 270	270	240	1.9	5	5 (16.5)	0.9	9	0.2

※寸法 T は、車道部舗装構成の表層、基層、及び粒調砕石を加えた厚さである。  
※ブロック個数 ( ) 内は、ブロック長 L=60cm の数量である。

歩車道境界ブロック (両面 R)

歩車道境界ブロック C種 (JIS A 5371)

歩車道境界	寸 法 表 (mm)				参考重量 (kg/個)
	a	b	h	L	
片面 R	180	210	300	2,000	270
両面 R	180	240	300	2,000	296

I-0301

工種記号

(青森) LS3- ( ) -T ( ) (型) (エプロン厚)

名 称

L型側溝 (組合せ)

10m当り

数量

項 目	計 算 式	数 量
コンクリート取壊し		
無筋コンクリート	ブロック $296\text{kg}/2.0\text{m} \times 5 \div 1000 \div 2.35$	0.6 m <sup>3</sup>
無筋コンクリート	基礎コン	1.3 m <sup>3</sup>
		1.9 m <sup>3</sup>

名称： 街渠撤去(平坦部)

図 面

M 型

F 型

〔適用条件〕

一般車両（T-2.5相当）の影響を考慮する場合で、歩道部がマウンドアップタイプにはM型、フラットタイプ及びセミフラットタイプにはF型を使用する。

〔仕 様〕

- 歩車道境界ブロックは、片面R・両面R共 L=2,000mmを標準とする。
- コンクリート② 呼び強度  $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
- 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。  
なお、路盤の上に設置する場合には基礎材は不要である。
- 伸縮目地間隔は1.0m以内とする。

〔設計表示方法〕

LS3-( )-T( )-K( )-L=○Om  
(型) (エプロン厚) (基礎材の種類) (延長)

記 号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）
K 3	基礎材なし

M 型

記 号	寸法表 (mm)		参 考 数 量 表 (1.0m当り)					
	T	t	コンクリート (m3)	型枠 (m2)	ブロック数量 (個)	基礎材 (m3)	伸縮目地 (m2)	
LS3-M-T 180	180	50	0.9	2	5(16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 190	190	60	1.0	3	5(16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 200	200	70	1.1	3	5(16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 210	210	80	1.2	3	5(16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 220	220	90	1.2	3	5(16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 260	260	130	1.5	4	5(16.5)	0.8	8	0.2
LS3-M-T 270	270	140	1.6	4	5(16.5)	0.8	8	0.2

※寸法 T は、車道部舗装構成の表層、基層、及び粒調砕石を加えた厚さである。  
※ブロック個数 ( ) 内は、ブロック長 L=60cm の数量である。

歩車道境界ブロック (片面 R)

F 型

記 号	寸法表 (mm)		参 考 数 量 表 (1.0m当り)					
	T	t	コンクリート (m3)	型枠 (m2)	ブロック数量 (個)	基礎材 (m3)	伸縮目地 (m2)	
LS3-F-T 180	180	150	1.2	3	5(16.5)	0.9	9	0.1
LS3-F-T 190	190	160	1.2	4	5(16.5)	0.9	9	0.1
LS3-F-T 200	200	170	1.3	4	5(16.5)	0.9	9	0.1
LS3-F-T 210	210	180	1.4	4	5(16.5)	0.9	9	0.1
LS3-F-T 220	220	190	1.5	4	5(16.5)	0.9	9	0.2
LS3-F-T 260	260	230	1.8	5	5(16.5)	0.9	9	0.2
LS3-F-T 270	270	240	1.9	5	5(16.5)	0.9	9	0.2

※寸法 T は、車道部舗装構成の表層、基層、及び粒調砕石を加えた厚さである。  
※ブロック個数 ( ) 内は、ブロック長 L=60cm の数量である。

歩車道境界ブロック (両面 R)

歩車道境界ブロック C種 (JIS A 5371)

歩車道境界	寸 法 表 (mm)				参考重量 (kg/個)
	a	b	h	L	
片面 R	180	210	300	2,000	270
両面 R	180	240	300	2,000	296

I-0301	工種記号	(青森) LS3-( )-T( ) (型) (エプロン厚)	名 称	L型側溝 (組合せ)
--------	------	----------------------------------	-----	------------

10m当り

項 目	計 算 式	数 量
コンクリート取壊し		
無筋コンクリート	$34\text{kg}/0.6\text{m} \times 16.5 \div 1000 \div 2.35$	0.2 m <sup>3</sup>
無筋コンクリート		1.1 m <sup>3</sup>
		1.3 m <sup>3</sup>

単位数量計算書

名称：街渠復旧(一般部)

図 面

**M 型**

**F 型**

**〔適用条件〕**

一般車道（T-2.5相当）の影響を考慮する場合で、歩道部がマウンドアップタイプにはM型、フラットタイプ及びセミフラットタイプにはF型を使用する。

**〔仕 様〕**

- 歩車道境界ブロックは、片面R・両面R共 L=2,000mmを標準とする。
- コンクリート②呼び強度  $\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$
- 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。  
なお、路盤の上に設置する場合には基礎材は不要である。
- 伸縮目地間隔は1.0m以内とする。

**〔設計表示方法〕**

LS3-( )-T( )-K( )-L=〇〇m  
(型) (エプロン厚) (基礎材の種類) (延長)

記 号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）
K 3	基礎材なし

**M 型**

記 号	寸法表 (mm)		参 考 数 量 表 (1.0m当り)					
	T	t	コンクリート (m3)	型枠 (m2)	ブロック数量 (個)	基礎材 (m3)	伸縮目地 (m2)	
LS3-M-T 180	180	50	0.9	2	5(16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 190	190	60	1.0	3	5(16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 200	200	70	1.1	3	5(16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 210	210	80	1.2	3	5(16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 220	220	90	1.2	3	5(16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 260	260	130	1.5	4	5(16.5)	0.8	8	0.2
LS3-M-T 270	270	140	1.6	4	5(16.5)	0.8	8	0.2

※寸法Tは、車道部舗装構成の表層、基層、及び粒調砕石を加えた厚さである。  
※ブロック個数( )内は、ブロック長L=60cmの数量である。

歩車道境界ブロック(片面R)

**F 型**

記 号	寸法表 (mm)		参 考 数 量 表 (1.0m当り)					
	T	t	コンクリート (m3)	型枠 (m2)	ブロック数量 (個)	基礎材 (m3)	伸縮目地 (m2)	
LS3-F-T 180	180	150	1.2	3	5(16.5)	0.9	9	0.1
LS3-F-T 190	190	160	1.2	4	5(16.5)	0.9	9	0.1
LS3-F-T 200	200	170	1.3	4	5(16.5)	0.9	9	0.1
LS3-F-T 210	210	180	1.4	4	5(16.5)	0.9	9	0.1
LS3-F-T 220	220	190	1.5	4	5(16.5)	0.9	9	0.2
LS3-F-T 260	260	230	1.8	5	5(16.5)	0.9	9	0.2
LS3-F-T 270	270	240	1.9	5	5(16.5)	0.9	9	0.2

※寸法Tは、車道部舗装構成の表層、基層、及び粒調砕石を加えた厚さである。  
※ブロック個数( )内は、ブロック長L=60cmの数量である。

歩車道境界ブロック(両面R)

歩車道境界ブロック C種 (JIS A 5371)

歩車道境界	寸 法 表 (mm)				参考数量 (kg/個)
	a	b	h	L	
片面R	180	210	300	2,000	270
両面R	180	240	300	2,000	296

I-0301 工種記号 (青森) LS3-( )-T( ) (型) (エプロン厚) 名 称 L型側溝(組合せ)

10m当り

項 目	計 算 式	数 量
歩車道境界ブロック (両面C種)		5.0 個
コンクリート		1.3 m <sup>3</sup>
型 枠		4.0 m <sup>2</sup>
基礎材 (RC-40)		9.0 m <sup>2</sup>

名称：街渠復旧(平坦部)

図 面

**M 型**

**F 型**

**〔適用条件〕**

一般車道（T-2.5相当）の影響を考慮する場合で、歩道部がマウンドアップタイプにはM型、フラットタイプ及びセミフラットタイプにはF型を使用する。

**〔仕 様〕**

- 歩車道境界ブロックは、片面R・両面R共 L=2,000mmを標準とする。
- コンクリート②、呼び強度  $\sigma_{ok}=18\text{N/mm}^2$
- 基礎材は、再生砕石（最大粒径40mm）または切込砕石（最大粒径80mm）とする。  
なお、路盤の上に設置する場合には基礎材は不要である。
- 伸縮目地間隔は1.0m以内とする。

**〔設計表示方法〕**

LS3-( )-T( )-K( )-L=○○m  
(型) (エプロン厚)(基礎材の種類) (延長)

記 号	基礎材の種類
K 1	再生砕石（最大粒径40mm）
K 2	切込砕石（最大粒径80mm）
K 3	基礎材なし

**M 型**

記 号	寸法表 (mm)		参 考 数 量 表 (1.0m当り)					
	T	t	コンクリート (m3)	型枠 (m2)	ブロック数量 (個)	基礎材 (m3) (m2)	伸縮目地 (m2)	
LS3-M-T 180	180	50	0.9	2	5(16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 190	190	60	1.0	3	5(16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 200	200	70	1.1	3	5(16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 210	210	80	1.2	3	5(16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 220	220	90	1.2	3	5(16.5)	0.8	8	0.1
LS3-M-T 260	260	130	1.5	4	5(16.5)	0.8	8	0.2
LS3-M-T 270	270	140	1.6	4	5(16.5)	0.8	8	0.2

※寸法Tは、車道部舗装構成の表層、基層、及び粒調砕石を加えた厚さである。  
※ブロック個数( )内は、ブロック長L=60cmの数量である。

歩車道境界ブロック (片面R)

**F 型**

記 号	寸法表 (mm)		参 考 数 量 表 (1.0m当り)					
	T	t	コンクリート (m3)	型枠 (m2)	ブロック数量 (個)	基礎材 (m3) (m2)	伸縮目地 (m2)	
LS3-F-T 180	180	150	1.2	3	5(16.5)	0.9	9	0.1
LS3-F-T 190	190	160	1.2	4	5(16.5)	0.9	9	0.1
LS3-F-T 200	200	170	1.3	4	5(16.5)	0.9	9	0.1
LS3-F-T 210	210	180	1.4	4	5(16.5)	0.9	9	0.1
LS3-F-T 220	220	190	1.5	4	5(16.5)	0.9	9	0.2
LS3-F-T 260	260	230	1.8	5	5(16.5)	0.9	9	0.2
LS3-F-T 270	270	240	1.9	5	5(16.5)	0.9	9	0.2

※寸法Tは、車道部舗装構成の表層、基層、及び粒調砕石を加えた厚さである。  
※ブロック個数( )内は、ブロック長L=60cmの数量である。

歩車道境界ブロック (両面R)

**歩車道境界ブロック C種 (JIS A 5371)**

歩車道境界	寸 法 表 (mm)				参考重量 (kg/個)
	a	b	h	L	
片面R	180	210	300	2,000	270
両面R	180	240	300	2,000	296

I-0301 | 工種記号 | (青森) LS3-( )-T( ) (型) (エプロン厚) | 名 称 | L型側溝 (組合せ)

10m当り

項 目	計 算 式	数 量
歩車道境界ブロック 横断歩道部		16.5 個
コンクリート		1.1 m <sup>3</sup>
型 枠	A= (0.190+0.160)×10	3.0 m <sup>2</sup>
基礎材 (RC-40)	A= 0.800×10	8.0 m <sup>2</sup>

青森浪岡線交通安全施設整備 (電線共同溝)工事		
業務番号		
路線名	青森浪岡線	
施工所	青森市大字荒川 地内	
土工数量 平面図(2/6)	縮尺 1:250	
図面番号		
東青森土整備事務所		
青 森 県		

00  
00

特殊部土工

特殊部土工

管路部(本管)土工

管路部(本管)土工

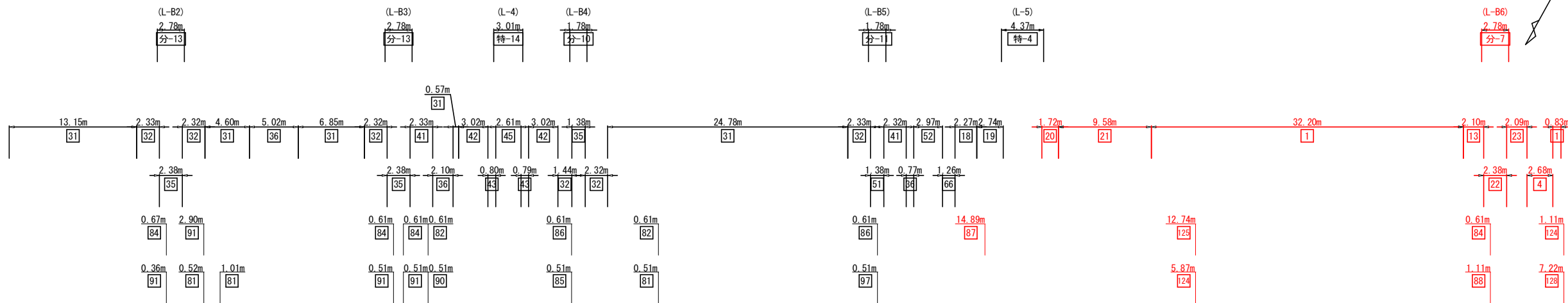
管路部(連系・引込管)土工

管路部(連系・引込管)土工

## 土工数量平面図(2/6)

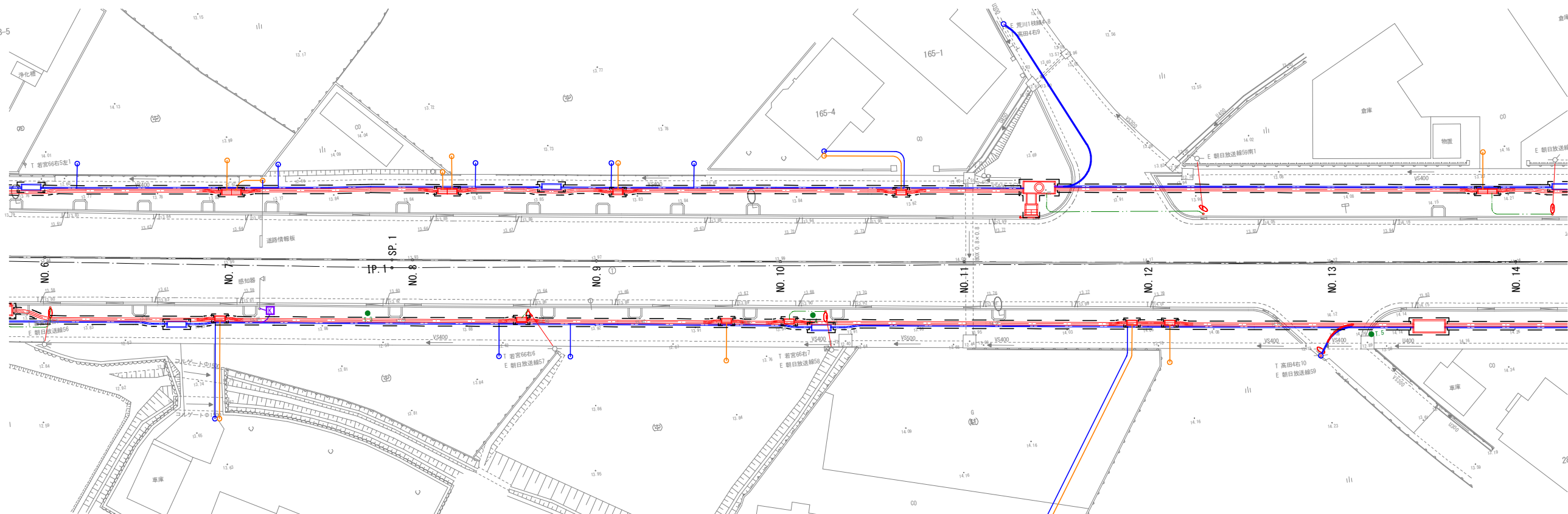
S=1:250

## 数量根拠図



### 電 線 共 同 溝 凡 例

管 路	幹線	電力	
		通信	
	引込	電力 高圧	
		電力 低圧	
	連系	通信	
		電力	
特 殊 部	接続部 横断部	I 型	
		電力 II 型	
	接続部 通断部	通信 II 型	
		開閉器	
	地上 機器	変圧器	
		電力分岐樹	



管路部(連系・引込管)土工

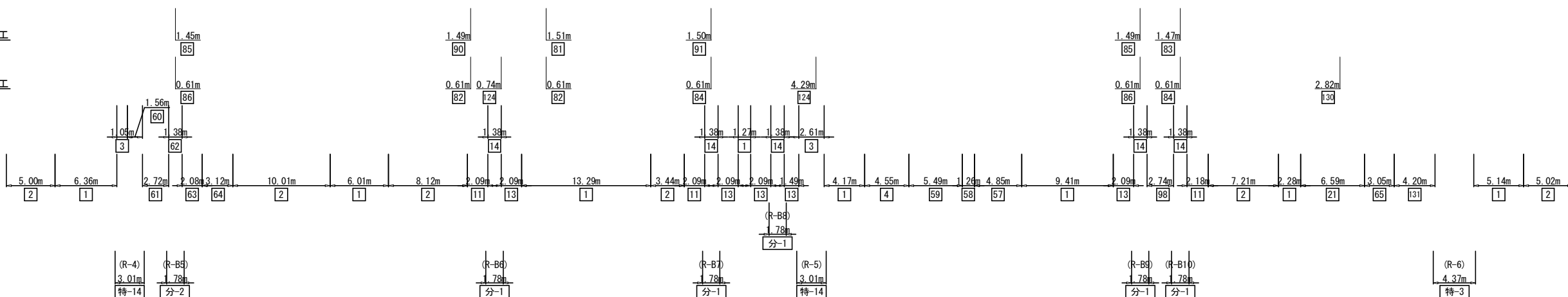
管路部(連系・引込管)土工

管路部(本管)土工

管路部(本管)土工

特殊部土工

特殊部土工



青森浪岡線交通安全施設整備 (電線共同溝)工事	
業務番号	
路線名	青森浪岡線
施工所	青森市大字荒川 地内
土工数量 平面図(3/6)	縮尺 1:250
図面番号	
東青県土整備事務所	
青 森 県	

特殊部土工

特殊部土工

管路部(本管)土工

管路部(本管)土工

管路部(連系・引込管)土工

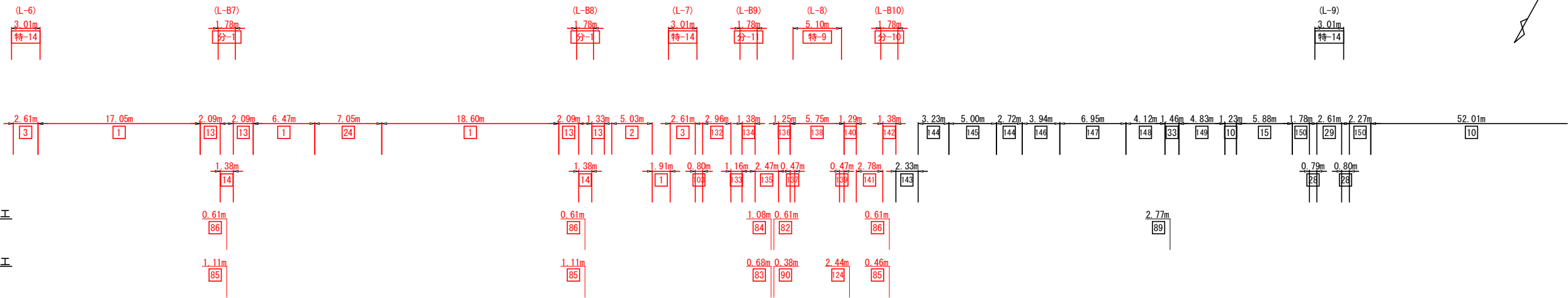
管路部(連系・引込管)土工

00  
00

## 土工数量平面図(3/6)

S=1:250

## 数量根拠図



電 線 共 同 溝 凡 例			
管 路	幹線	電力	≡≡≡
		通信	≡≡≡
	引込	電力 高圧	—●—
		電力 低圧	—○—
	連系	通信	—○—
特 殊 部	接続部 横断部	電力 I 型	☐
		電力 II 型	☐
	接続部	通信 I 型	☐
		通信 II 型	☐
	地上 機器	開閉器	☐
		変圧器	☐
	電力分岐樹		☐

管路部(連系・引込管)土工

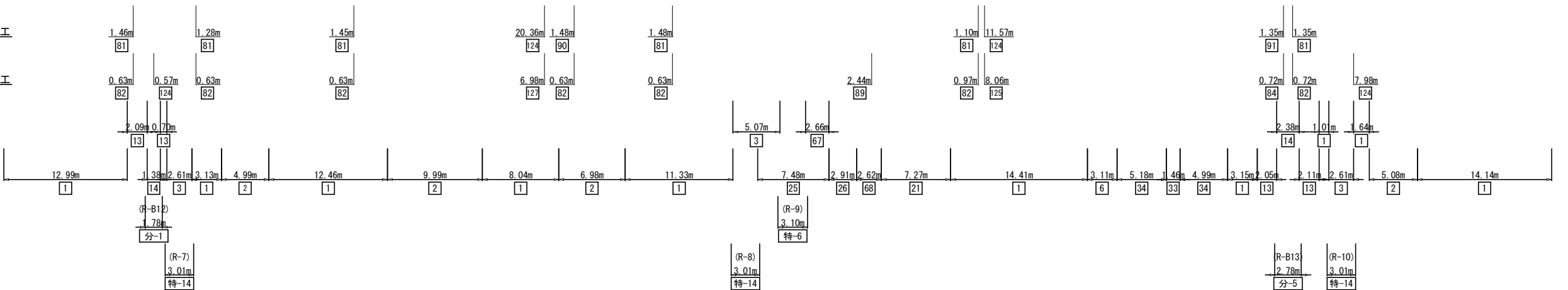
管路部(連系・引込管)土工

管路部(本管)土工

管路部(本管)土工

特殊部土工

特殊部土工



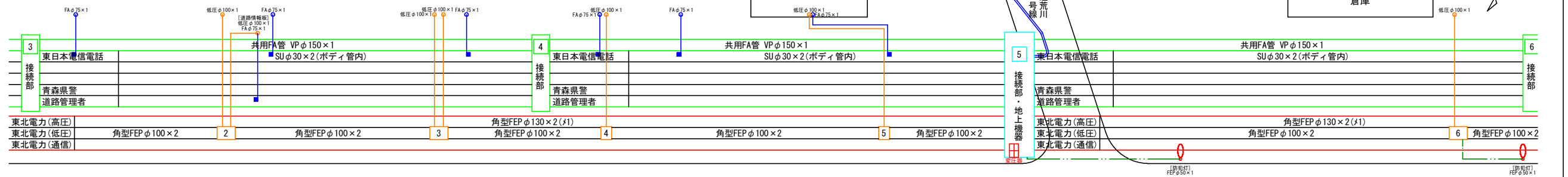


青森浪岡線交通安全施設整備 (電線共同溝) 工事	
業務番号	
路線名	青森浪岡線
施工所	青森市大字荒川 地内
本体工数量 平面図(2/6)	縮尺 1:250
図面番号	
東青県土整備事務所	
青 森 県	

## 本体工数量平面図(2/6)

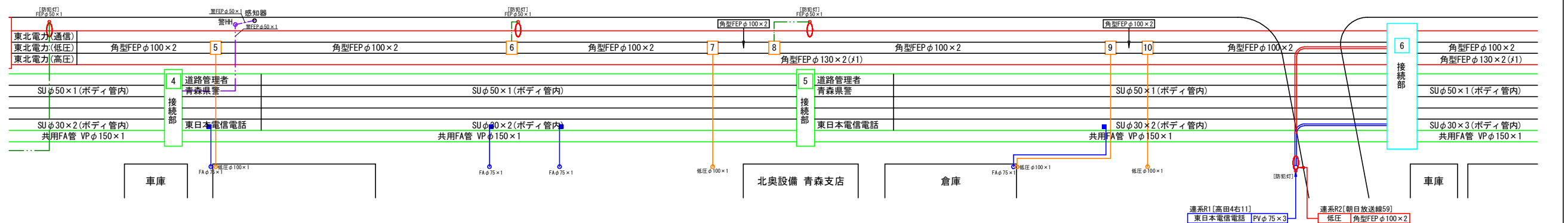
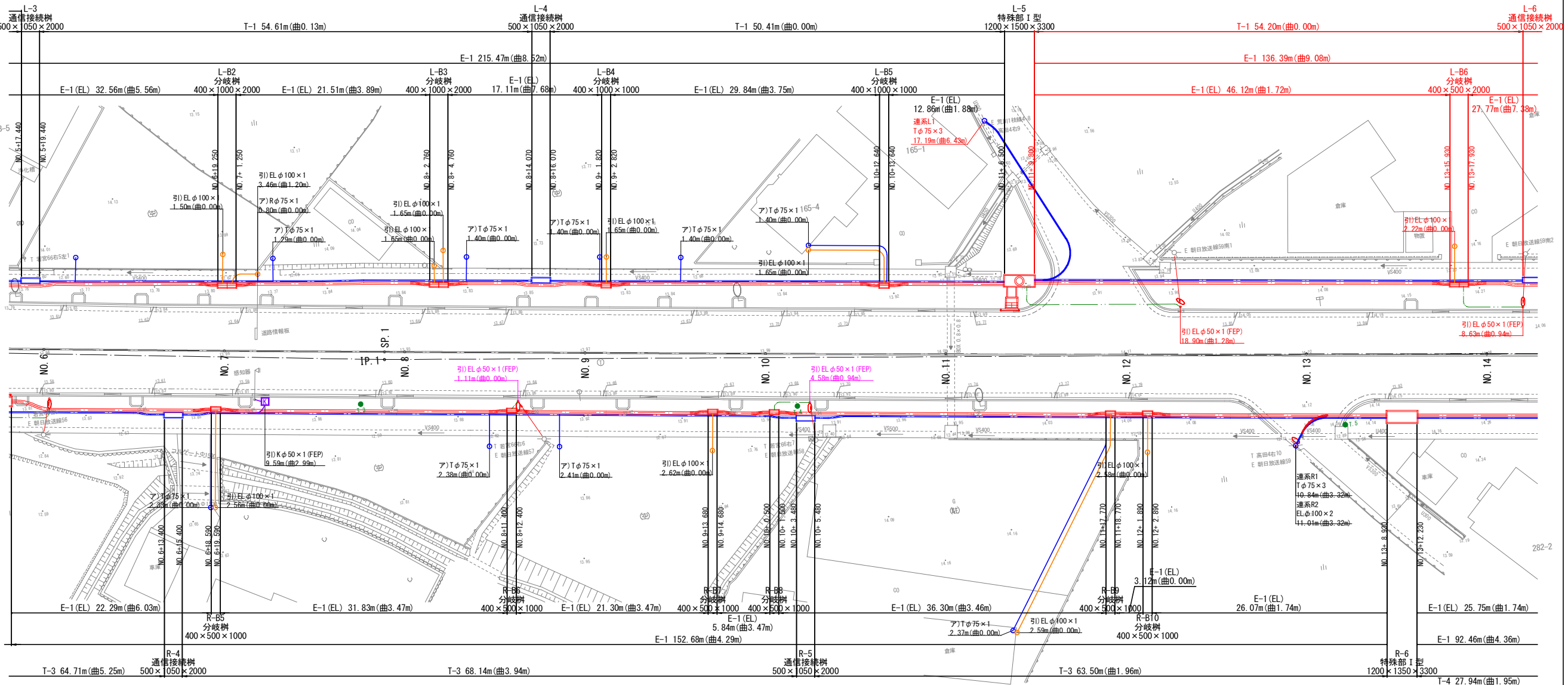
S=1:250

## 数量根拠図



### 電線共同溝凡例

管 路	幹線	電力	
		通信	
	引込	電力 高圧	
		電力 低圧	
特殊部	連系	電力	
		通信	
	接続部横断部	I型	
	接続部	電力II型	
地上機器		通信II型	
		開閉器	
		変圧器	
		電力分岐樹	

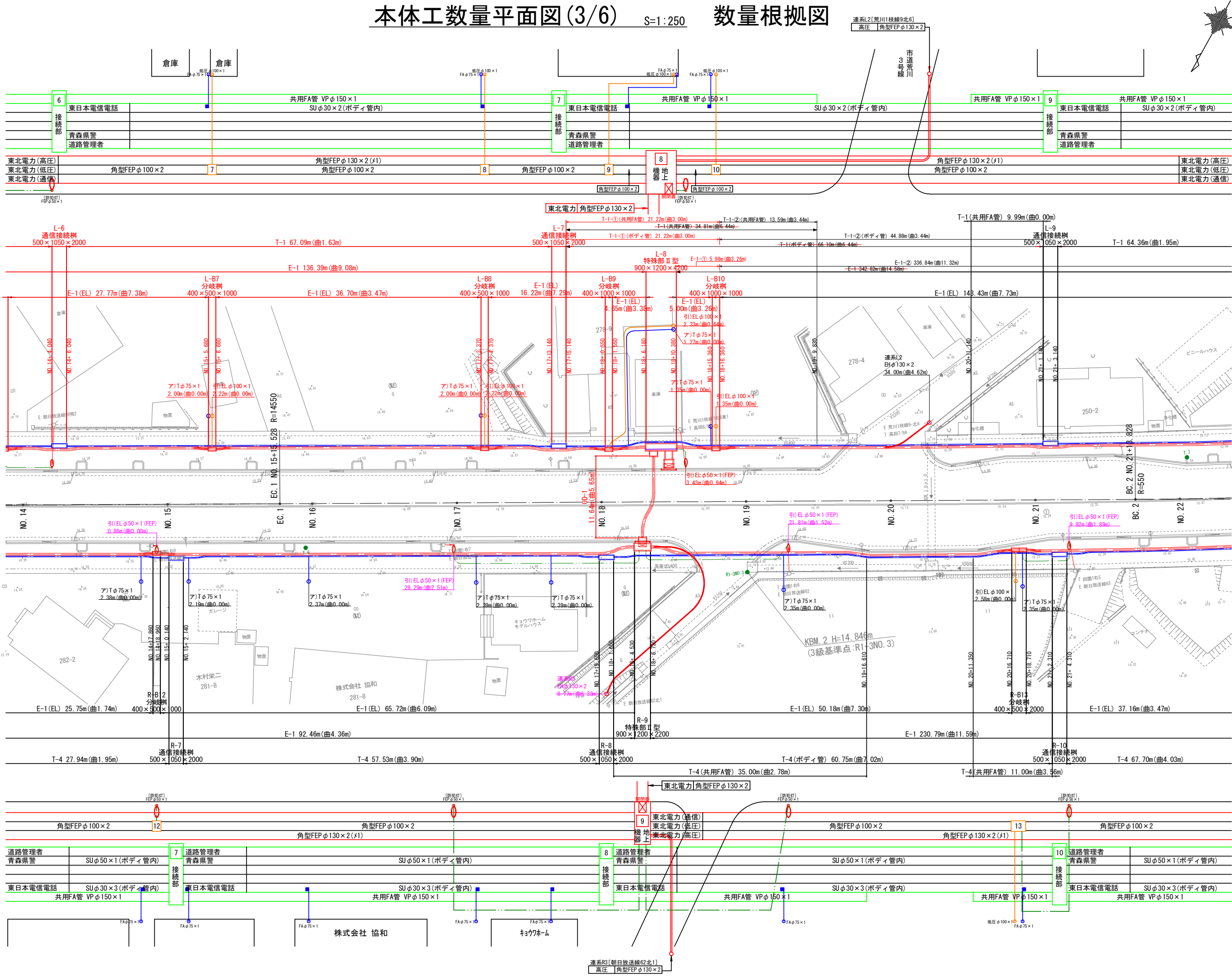




本體工数量平面図(3/6) S=1:250 数量根拠図

青森浪岡線交通安全施設整備 (電線共同溝)工事	
業務番号	
路線名	青森浪岡線
施工所	青森市大字荒川 地内
本體工数量 平面図(3/6)	縮尺 1:250
図面番号	
東青森土整備事務所	
青 森 県	

00  
00



電 線 共 同 溝 凡 例		
管 路	幹線	電力
		通信
	引込	電力
		通信
特殊部	連系	電力
		通信
	接続部横断面	I 型
	接続部	電力 II 型
地上機器		通信 II 型
	開閉器	
	変圧器	
	電力分岐樹	

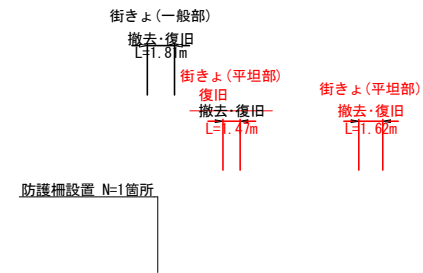
青森浪岡線交通安全施設整備 (電線共同溝)工事	
業務番号	
路線名	青森浪岡線
施工所	青森市大字荒川 地内
雑工数量 平面図(2/6)	縮尺 1:250
図面番号	
東青県土整備事務所	
青 森 県	

00  
00

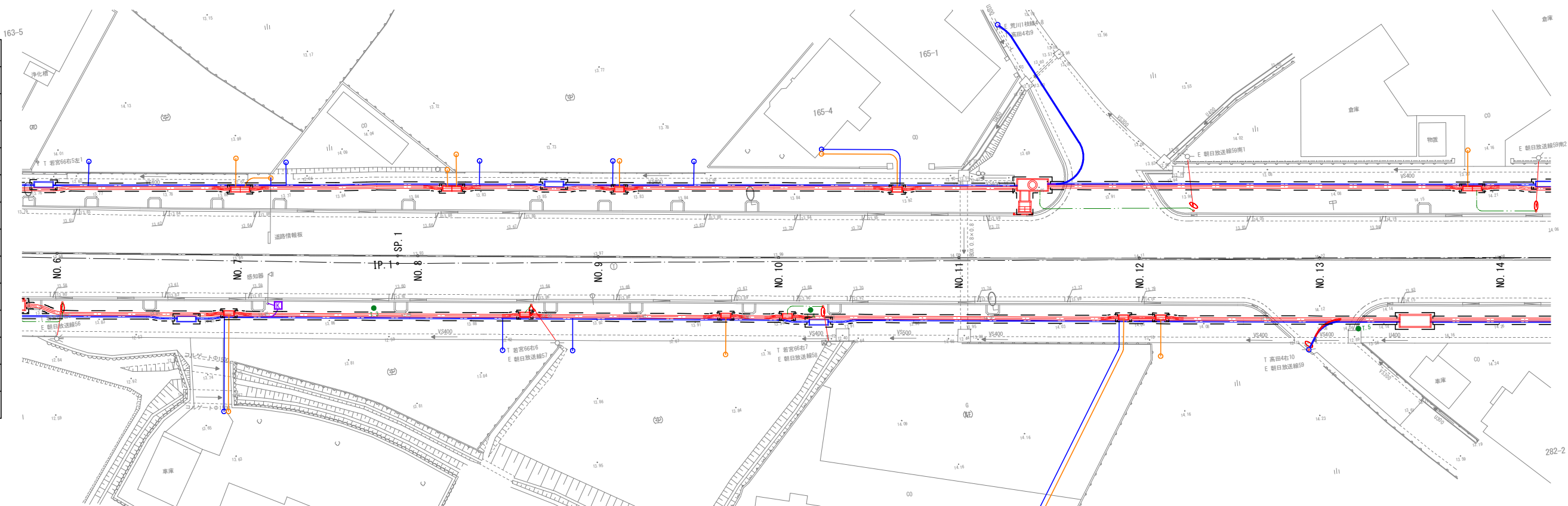
# 雑工数量平面図(2/6)

S=1:250

# 数量根拠図



電 線 共 同 溝 凡 例			
管 路	幹線	電力	
		通信	
	引込	電力 高圧	
		電力 低圧	
	連系	通信	
特 殊 部	接続部 横断部	I 型	
		電力 II 型	
	接続部	通信 II 型	
		開閉器	
	地上 機器	変圧器	
		電力分岐樹	



街きよ(平坦部)  
撤去・復旧  
L=2.34m

街きよ(平坦部)  
撤去・復旧  
L=1.69m

青森浪岡線交通安全施設整備 (電線共同溝)工事	
業務番号	
路線名	青森浪岡線
施工所	青森市大字荒川 地内
雑工数量 平面図(3/6)	縮尺 1:250
図面番号	
東青県土整備事務所	
青 森 県	

00  
00

# 雑工数量平面図(3/6)

S=1:250

# 数量根拠図

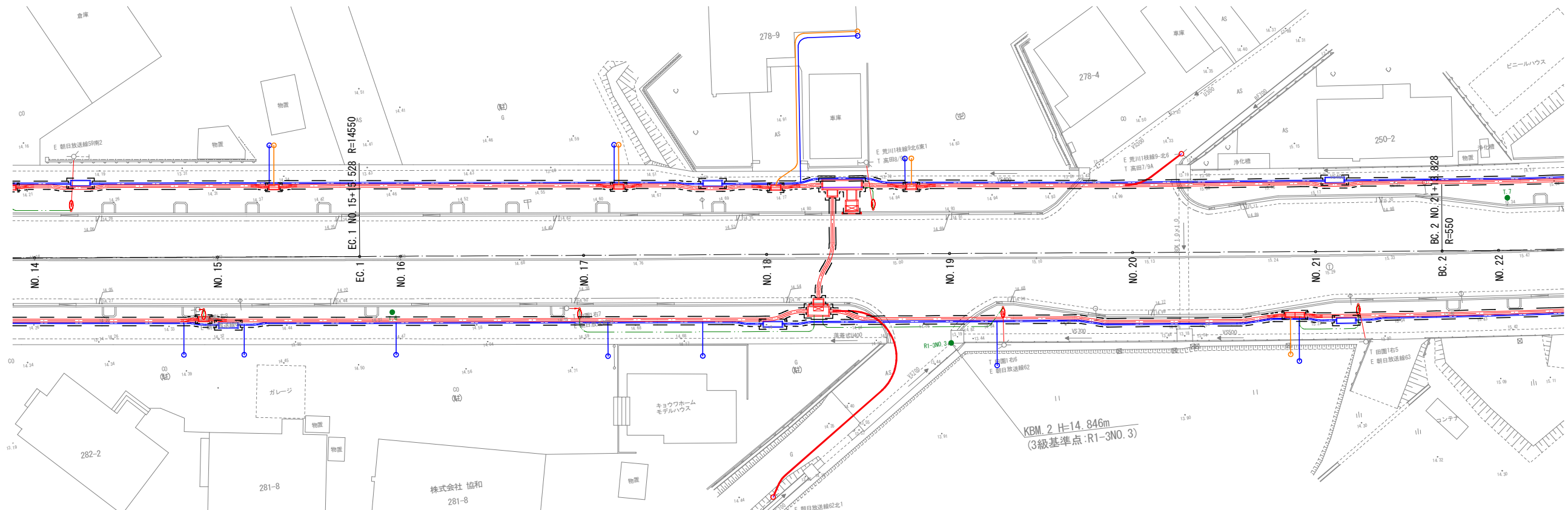


街きよ(一般部)  
撤去・復旧  
L=3.37m  
防護柵設置 N=1箇所

街きよ(平坦部)  
撤去・復旧  
L=2.10m

街きよ(平坦部)  
撤去・復旧  
L=1.16m

電 線 共 同 溝 凡 例			
管 路	幹線	電力	
		通信	
	引込	電力 高圧	
		電力 低圧	
	連系	通信	
特殊部	接続部 横断部	I 型	
		電力 II 型	
	接続部	通信 II 型	
		地上機器 開閉器	
	地上機器	変圧器	
		電力分岐樹	



防護柵設置 N=1箇所  
街きよ(一般部) 街きよ(平坦部) 街きよ(平坦部)  
撤去・復旧 撤去・復旧 撤去・復旧  
L=3.10m L=1.88m L=2.43m